京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓九十錢 (郵税共)
廣告料 五號活字一行 ……
發行兼編輯人 印刷人 京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社

○六大恩典の尊き意義

江木大禮使次官謹話

大禮と共に仰せ出されたる六ツの恩典こそ最も尊き意義を有す第一の恩赦と第二の賑恤は博愛仁慈の大御心を洽く布かせ玉ふものにて第三の養老は天祖の遺訓を繼承し大孝を述べらるゝ所以と合致せり第四神社の昇格は概ね延喜式の神社のみなるが中に一つ東京麹町永田町の日枝神社は太田道灌が江戸城を修築したる際奉祀せるものにて其昔中山侯の邸內に在り　陛下が御幼時中山邸にて御生長遊ばされ給ひし御因縁より特に大禮を機として昇格仰せ出されたるものと拜察す第五は國家の功臣に對する贈位にて中に正一位を贈られたる山科大納言言繼の如きは元龜天正の際後水尾天皇が皇室式微の爲め十餘年間御即位式を擧げさせ給ふ能はざりしを慨せ自ら草鞋履きにて諸侯を遊說し漸く天皇の素志を達せしめし人なり第六は叙勳にて勳一等旭日章を得たる澁澤男爵は云ふ迄も無く實業界の功勞者、奥田義人氏は東京市長として御大典に關する同市の功勳を賞せられたるもの、犬養、島田兩氏は憲政の功勞者村山、本山、德富、黒岩の四氏は新聞界の功勞者と認められたるもの、黒田侯爵は殆ど二十餘年間貴族院に副議長たりし爲めにて何れも叙勳は廣く一般各方面に及び、しかも總花的に流れざる爲め官吏の如きは之を除けり、何はあれ總て　陛下の深き御仁德の表現にて感佩の至りに堪へず(京都特電)

○大典と米國大統領

日本皇帝陛下の御返電

華盛頓來電に依ればウヰルソン大統領は日本皇帝陛下御即位に際し祝電を發したるが右に對し　陛下より大統領に宛てたる謝電を接受せり同御返電には併せて大統領自身の幸福並に日米國間に存する友情の永續せんことを切望すとありたり(紐育電報)

○白酒黒酒納入

十三日午前十時大嘗宮神前に供進す可き白酒黒酒納入されたり(京都特電)

○國賓湖畔探勝

十三日朝來天好く晴れて氣爽かなり國賓は琵琶湖畔探勝に逝けり(京都特電)

歐洲大戰亂

▲羅希二國蹶起の動機

羅國聯合軍の力量を疑ふ

ブカレスト來電に據れば羅希二國をして斷然聯合國側の爲に蹶起せしむ可き決定的の動機を爲す可き者は聯合國側が最後の勝利を獲得するの見込充分なる優勢の兵力を以て一大巴爾幹戰を開始するに耻ぢざる力量と用意とを事實の上に示現するに在り就中羅馬尼は露國が如何程度に於て此方面の戰鬪に參加するやを頗る案心しつゝあり少くも二十萬の露軍は是非とも英佛軍と協同せざる可からずと推量されつゝありと(倫敦電報)

▲露軍は獨軍に比し優勢

獨軍はリガ地方の森林に退却せり今や露軍は獨軍に比し確に優勢の地位に在り(倫敦電報)

▲羅希勃三國王の會見計畫

ロッテルダム來電に據れば羅、希、勃三國王は維都ブカレストに於て會見の計畫ありと(紐育電報)

▲希議會解散裁可

希臘王コンスタンチン一世は議會解散の勅令を裁可せり(巴里電報)

雜報

◉減刑者人種別

鮮人八千六百餘名

十日發布の恩赦令に依りて一般減刑の恩典に浴せし鮮內罪囚者數は既報の通りなるが更に之を人種別に見るに各法院に於いて減刑を受けたるもの一千三百六十中、內地人四百四十八名、朝鮮人九百九名、外國人三名、減刑を受けざりしもの二十九名中、內地人二名、朝鮮人二十六名、外國人一名なり、又た各監獄に於て減刑を受たるもの一萬九十四名中、內地人一千百七十一名、朝鮮人八千七百十一名、外國人二百十二名、減刑を受けざりしもの一千百二十六名中、內地人百六十四名、朝鮮人九百四十九名、外國人三名にして總計減刑者は內地人一千六百十九名、朝鮮人八千六百二十名、外國人二百十五名、減刑を受けざりしものは內地人百六十六名、朝鮮人九百七十五名、外國人十四名なりき

◉大典と外國人

京城在住外人の組織に係るソール俱樂部にては日本皇帝陛下御即位大典の記念として十日金五百圓を總督府に寄せ慈善事業の費に充て度し其費途は一切總督府に一任する旨申出たりと

◉共進會事務所閉鎖

殘務は商工課にて處分

は十五日までに終了の豫定なりしが共進會各館の出品物に對する處分其後諸般の作業著しく進捗せし爲め二號館は十二日限り閉鎖の運びを見、美術館も十三日閉鎖したり、而して參考館は稅關の關係上尚ほ二三日間を要す可きも事務所は豫定の如く十五日を以て閉鎖し殘務は總督府商工課內に移轉處理する事となれり

◉年內に選擧か

猛烈なる選擧戰行はる可き形勢

京城商業會議所の設置認可申請書は九日付其筋に提出したり同申請書には十月末日調査による京城府の營業稅十三圓以上を納むる者を會員として六百二名の會員中四百十三名の調印を得たり只だ其連署者中從來會議所とは淺からぬ關係を有する中村再造氏の名を認め得ざるは頗る不思議の次第なり此間の事情に就き或消息通の語る所によれば曩に開會した京城會議所創立委員中に中村再造氏を加へざりしと一面には先選ての會頭選擧の際の緯絡等彼是れの關係上多少中村氏と會議所との間に感情の衝突を來したるものあるべしと云ひ居れり何れにせよ會議所も革新して半島商工業の一新紀元を開拓せんとする今日如斯は實に苦々しき限りなり

▲認可意外に早し　何しろ會議所の認可も早くは本月末遲くも來月早々迄に指令ある筈なれば會議所側の意見としては一日も早く總選擧を行ひたき希望にして總督府側としても亦京城會議所は各地會議所の範となる可きものなりとし出來得る限り早く認可を與へたき方針なりと云へば意外に早く認可ある可き見込なり然らば選擧期日は如何と云ふに定款には十二月十五日とあれども之れに就ては少なくも十一月末日迄に選被選擧名簿を調製し七日間縱覽せしむるの必要あれば若し定款通りに選擧を行ふものとするも仲々の混雜を來すに相違なきも一般の意嚮は年內に選擧を行ふを以て得策と唱し居るもの〻如し

▲有資格者と議員　選擧は從前通り二級制とし會議所の課金を半分したる即ち二百圓以上を負擔する者を一級とし其れ以下を二級とするものなるが一級の選擧有資格者は三十九名にして二級は五百六十三名なり故に三十九名中より十五名の議員を出せば一人當り最低二票最高六七十票にて當選するものと見て七十五名の議員中最低四十五票三四票の間にて當選す可く二級にありては大差なかるべし由之觀是今回の選擧は從來類例なき猛烈なる選擧戰を現出するに至る可きは明にして一人當り三四百圓位の選擧費を要すと豫測されつゝあり兎に角本年中に選擧を行ふものとすれば御大典奉祝の賑ひの後ち又しても一騷ぎ賑ふ可く爲に市中一般好景況を呈すべし選擧後役員の人選を今日云々するは餘りに取越し苦勞なれども會頭には原田現會頭副會頭二人中內地人は全く不明なれども鮮人側は韓相龍氏なりとの呼聲高し

◉農業技術官會議

總督府にては十九日より六日間各道農業技術官を召集し第二會議室に於て農業技術官會議を開催するに決せり同會の參列者は各道農業技師十三名の外勸業模範場よりも亦數名の技師出席の筈なり

◉白國祝日遠慮

十五日は白耳義國皇帝アルベール陛下の命名祝日に相當するも在京城同國總領事館に於ては祝賀を受けざる旨其筋に通知ありたり

◉協贊會事務所移轉

京城協贊會の會場に於ける殘務整理も大要終了したるを以て來る二十一日より日本人商業會議所に引移り續て執務すべしと

◉協贊會の建物入札

京城協贊會の會場內に建設しある賣店其他の建物は來る二十日公賣入札に附する筈なれば入札希望者は同所に就き承合すべし

○軍人操縱參謀長は段上將軍

保定府警備師團の急派

國體變更に際し段上將軍は全國軍人操縱の參謀長として二十日頃上京す可く新民府駐屯二十師は直隷保定府警備の爲め急派されんと(奉天特電)

◉安東大典記念物產館

安東縣在住民の計畫に係る御大典記念物產館は諸般の設備全く整頓し十四日開館式を擧行する事となれり總督府よりは市木商工課長列席す可し

◉伊澤新總監動靜

元山方面視察中の前警視總監伊澤多喜男氏は十二日夜再び入京せるが一兩日滯在の筈にて十四日夜は山縣政務總監の晩餐會に臨む豫定なり

人事消息

▲背木戒三氏(商工課長) 安東縣物產館開館式參列の爲め十三日出張
▲野田耕一氏(土木局出張所技師) 土木事業視察の爲め十八日より咸興、供原、北青、利原へ出張
▲秋山敬太郎氏(視學官) 學事視察の爲め十九日より黄海平南兩道に出張
▲安住時太郎氏(評議士) 十二日夜公州より歸京
▲松本正寛氏(評議士) 所設用にて大邱に出張中の處十三日朝歸京

南言北語

上海鎮守使鄭汝成氏の横死は上海革命黨領袖夏之奇の暗殺と交換的に行はれたものだ▲上海の革命黨領袖を斃した帝政派は其の機に上海帝政派の頭目鄭氏を失つた譯だ革命黨も算盤が好い▲鄭氏の凶報が北京の帝政派に傳はると喜び上がつたと云ふが尤も千萬だ四國警告より此の方が帝政派の爲には恐ろしいからナ▲江蘇將軍で帝政反對の大頭目馮國璋老爺の行動は大分注意を引いて居たが近頃と振は出ないのはチト臭いと評判する者も出來た▲處が豈計らんや先月袁總統の長子袁克定氏がソッと南京へ行つて百萬十二元を馮老爺の懷中へ捻ぢ込んで、だからサーをきめ込だ以來馮老爺が何となく變つて來たとは之れが只今のヘウヘンだ▲運命旦夕に迫りつゝある塞國首相パシッチ氏は議會で「一戰勝國のお情けに依つて生き永らへんよりは華々しく最後まで戰ひ斃れて後止まんのみ」と氣焔を吐いて居る▲其の元氣あつてこそ塞國が獨、墺、勃の大軍を引き受けて孤軍奮鬪尚ほ今日あるのである歐洲交戰國中の首相で之れ丈けの勇氣を持て居る者が幾人あらうか▲壯なる哉塞首相盛なる哉パシッチ氏男子山來意氣を衒ふ希臘羅馬尼連以て奈何となす喝▲ハイデラバットの騷動が大きくなつて印度に重大な反亂でも起れば日英同盟によつて日本が出兵して呉れると英國では觀測して居る▲ヤレ〳〵其う厄介をかけられては困るが四角張つて條約上の約束だからと云へば仕方もあるまいが▲去れよりも此方にはまだ手のかゝる仕事が一とつ控へて居るからナア

□人吉より　大塊

奔流百里光るや紅葉の球磨路哉
熱禰の此處に見事や彼處にも
霧の海鐘や無常の響きあり
拔け驅の碧蹄館觀楓の報に接して
拔け驅や紅葉觀るにも御禁制
嚴寒の如乾度あるべし御成敗

▲廣告▼

商業登記公告

朝鮮煙草株式會社取締役皆川芳造ハ大正四年拾月貳拾五日辭任シタリ
右大正四年拾壹月六日登記
商號 新設
商號 吏科、
營業ノ種類 飲食店、
營業所 京城府旭町壹丁目貳番地
商號使用者ノ氏名住所 同所 飯田諒一郎
右大正四年拾壹月拾壹日登記
本月拾壹日株式會社韓一銀行變更登記公告事項中崔鎭トアルヲ監査役崔鎭ニ沈相翊トアルヲ監査役沈相翊ニ各訂正ス

京城地方法院

本日當院東三病棟より出火致し候へ共入院患者に異狀無之候間此段廣告候也
大正四年十一月十三日
朝鮮總督府醫院

廣告
豫て御通知申上候兵庫縣人會は都合に依り來る二十日午後六時より千代本樓に於て開會することに變更致候間御承知を乞ふ但會費金二圓御持參の事申込所は黄金町二丁目 三勝 服部方
兵庫縣人會發起人一同

書法眞訣
全一冊 特價七十錢
本書は我書翰研究會講師海岡金圭鎭氏の蘊蓄せる學者の寶鑑なり執筆運筆「讀書法」楷、行、草、篆、隷、八分、各體を一々圖解說明し令弟醫學士金台鎭氏は日本文にて翻譯し內地學者の便利を計れり
發行所 京城長谷川町 古今書畫舘
分賣所 平壤水玉洞 會員尹鍼寔白 箕城寫眞部

期米
朝米週報及期米賣買手引書御一報次第無代進呈致候
大阪堂島濱通壹丁目 堂島米穀取引所仲買人
原潮商店
電話(三〇八、三〇九) 京長(一六一四)

廣告
本病院長醫學博士李慰滿 W. T. Reid m. D. 儀兼て歸國休養中約一ヶ年振に歸院致し候に付ては今後尚一層業務擴張を計る爲め從來の普通診察所以外特別診察所を增設し茲に晝夜に不拘左の時間に依り熱誠を以て診察に應ず可く候
院長診察時間(但日曜土曜を除く)
自午後二時至同四時 於普通診察所
自同四時至同五時 於特別診察所
右時間以外は朝鮮醫師に於て擔當す
開城滿月町
南星病院

家庭博覽會入場者に限り(場內の賣店にて)定價の貳割引にて差出ます
皇后陛下各宮殿下御嘉納
國民新聞社編 定價五十錢郵稅八錢
理想の家庭
▲理想的家庭 德富猪一郎氏▲教育 下田歌子女史▲結婚 鳩山春子女史▲育兒 瀬川昌耆博士▲衛生 吉岡彌生女史▲交際 山脇房子女史▲住宅 伊東忠太博士▲中流の納戸と裁縫部屋 羽仁もと子女史▲室內の裝飾 井上秀子女史▲庭園 長岡安平氏▲園藝 鈴木武太郎氏▲音樂 入澤博士夫人▲家庭料理 赤堀峰吉氏▲家庭經濟 嘉悦孝子女史▲衣服 堀越千代子女史▲洗濯 宮川壽美子女史▲下婢の使方 加藤博士夫人▲家庭の娛樂 巖谷小波氏
內容一斑
本社は現代斯道專門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より庭に育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尚諸先生考案の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、是非共一冊を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。
大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

◎御大典記念祝盃(御即位式當日の郵便局記念スタンプ押捺)
三ツ組 大直徑四寸 中同三寸五分 小同三寸
桐箱入
朱塗金梨子地金蒔繪鳳凰繪(記念文字入)
記念スタンプ
壹千組を實費にて…(荷造費共)…
品質保險付
京城日報社代理部

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金廿二萬五千貳百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八・一六六・三八四一番 振替京城一番
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
一般銀行業 倉庫業
南大門支店 電話五四四番 振替七〇二番
本町支店 電話一五八二番 振替二九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番

最上醤油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

●天外より一羽の烏

勅語御朗讀中の奇瑞

御即位式當日參列者に最も深い感銘を與へたのは　天皇陛下が高御座に玉體を現じ給うた瞬間と、大隈首相の萬歲奉唱の刹那であつたが　聖上陛下の黃櫨染の御袍と東宮殿下の黃丹闕掖の御色彩は

▼極めて調和よく最とも神々しく拜せられた殊に東宮殿下には唯御一人年少の御身に渡らせ給ふことゝて際立つて拜せられた、勅語の御朗讀は初め稍や御低音に遊ばされたが、後段に於ては鳳聲に張があり、最後の『爾臣民其れ克く朕が意を體せよ』の一句は、玉音朗々として遠き隅々まで響き渡つた、此の時不思議とも奇瑞ともいはんか

▼天外より一羽の烏飛び下つて一聲ばかり慶び啼をしたるは八咫烏の古事も偲ばれて、參列者一同式終りて後ち此の瑞祥に心から慶びの聲を揚げた、大隈伯の壽詞奉讀の聲と萬歲の聲とは僅かに一世一代の大聲で如何なる隅々の人へも耳朶を擘つ如く聞えた、所が壽詞を讀み終るか終らぬ間ズドンと號砲が鳴り渡つた、流石は隈伯だけあつて周章た色も見えなかつた(京都特派員)

●上洛中の朝鮮貴族

即位式の儀に參列したる李完用伯と趙重應子とを訪ふ

朝鮮王族李埈公殿下は目下枳殼邸に滯在して居られるが別に御大禮參列の朝鮮貴族總代は祇園中村樓に十一名及び前記枳殼邸に八名滯在して居る、御即位式の儀に參列して歸宿せる十日午後先づ中村樓を訪ふて刺を通じ李完用伯に面會を求めると直ちに導かれたのは階上北寄の廣間、

▲國體の精華世に類の無い

伯は御即位式の御儀に參列し只今歸つた處で取込んで居ればとて隨行の白井氏代つて語る『歐洲大陸が今や修羅の巷と化してゐる時に際して、斯くに和氣藹々たる中に此の御盛儀の行はれたのは誠に御芽出度い事で、前古未曾有の盛儀に參列を許された伯爵も衷心から其の光榮に感泣して居る次第である、それに付けても思ひ起されるのは日本帝國の國體の比類なき美しい處で、我日本皇帝は萬世一系の天津日嗣を承け給ふ程あり我々新附の朝鮮人まで八道を擧げて歡喜に充ちてゐるのは實に世界に類例がないと非常に感服して居りました』こゝを辭して俥を枳殼亭の玄關に飛す

▲世界に類例の無い御儀式

即位の御儀式に參列し午後五時卅分歸館した趙子爵は流暢な日本語で語つて曰く『曠古の御盛儀に會ひ壯嚴無比の御儀式を奉拜し只虔敬の念に打たれるのみである。支那でも朝鮮でも帝王あつて以來即位式と云ふものは行はれたが斯くの如く壯嚴に且つ神嚴にそして津々浦々までの臣民までが一齊に是を悅び是れを祝し參らすと云ふ事がない、此の御盛儀に參列する事を得たのは私自身の光榮たるのみならず朝鮮民族一般の光榮であつて朝鮮に歸ると共に其の御儀式の模樣を詳しく話す積りである』(京都より)

●申込者三千人

十七日官民聯合奉祝大宴會

官民聯合の奉祝宴會は來る十七日午後一時半より景福宮慶會樓に於て開催の筈にて京城府內の大典奉祝事務所にては數日前より會員の申込を受付け居たるに十二日正午の締切りまでに千有餘名の申込あり尙ほ續々申込者ありて到底締切りを爲し能はざるため更らに十三日正午迄延長したるに正午迄二千五百名の申込あり就中工業傳習所の如きは所長以下の職員百餘名全部振て出席すると云ふ盛況也如上の如き盛況なれば今尙多忙のため申込を遲延したる向もある可きやも計り難ければ特に十四日は日曜なれども同日一日中申込の受付を爲す可きにより加入希望者は至急に申込むべしと

御大典記念加茂川踊

●紅葉の下蔭に

日進艦乘組總員の運動會

仁川公園の賑

十二日午前九時より目下仁川港碇泊の軍艦日進乘組員五百餘名は各國公園空地の運動場にて陸上運動會を催した紅葉美しき芝生の上に久し振りに陸上の人となつた海軍の將卒は嬉々として競技に餘念なく徒歩競走、人馬源平合戰千鳥競爭武裝競爭より陸上端艇競爭に續いては觀客の小學校生徒の徒歩競走もあつた何しろ午前八時といふに五百名の海兵が稅關棧橋に上陸して瀏喨たる喇叭の響と共に海岸町を穴門通を行進して運動場に乘り込だので市民は先を爭うて見物に雪崩れ込み婦人令孃迄の洋傘に交て小學校幼稚園のいたいけな見物人が手を拍ての大悅び午後からは四本柱の土俵に大相撲が初まり鐵筋石腕の勇士が滿身に力を入れて角逐するところは凄じいばかり轉て仁川素人力士も加はつて三人拔五人拔に觀客の手を握らしめ後總員の綱引きとなり大麻綱の兩側に陣取つた勇士は裸身の力を振つての大競爭途に西方の勝となつた此日の運動會は林檎喰せ喫煙競爭なんど無邪氣なものがやつたが海軍運動會ならでは見られ無い力の美を見せたので觀客の嬉は一方ならず且つ乘組將卒も歡を盡して引き上げたのは六時であつた

總督府醫院東第三號病室の火事

●總督府醫院の晝火事

東第三號病室一棟を燒失す

十三日午前十時二十五分總督府醫院東第三號棟より發火し一棟を燒失したるのみにて人命に異狀なく同十一時二十分鎭火したる椿事あり發火と見るや附近なる鍾路消防所及び黃金町詰所消防手を初め本部なる警務部消防本部より小熊警部以下全員其他市內全部の常備消防及び義勇消防隊東亞煙草會社工業傳習所の一隊も參加して防火に努めたる爲め幸に繼續の病室には延燒するに至らず發火したる長さ約十間奧行四間張位の東第三棟普通病室用の一棟を燒きたるのみにて鎭火したり燒け殘りたる柱は原形を存して骨髏に淋しく立ち殘れり何分病院の火災とて八方より醫院の前後門に馳せ集るもの夥しく爲めに門前には騎馬巡査物々しく警戒し入院患者に對して押寄する見舞の人々には現場の混雜を避くる爲已むなく

▲鎭火迄入門を謝絶し居りたる程にて一時は非常の騷ぎなりき記者が現場に驅つけし頃は黑煙渦卷き立昇り凄慘の狀四邊に滿ち病棟の後庭及び野原には寢臺を初め白布椅子藥瓶硝子戶等殘る所なく無雜作に搬出せられありて初冬の日に映え物淋しく見えたり燒失せる一棟は全部六室にて一室は特別患者室四室は普通患者室一室は看護婦詰所に充てられしものにして

▲床下より發火したるものゝ如く醫員を始め白衣の看護婦迄足袋跣足にて甲斐〴〵しく先づ患者を助けて避難させ他の室に收容したる由にて同所は割合に水利に乏しく離る長き消防用のホースを下手の市街水道栓に依めて通水したる程なるが同日は天氣小春の如く靜にて風に無かりし爲め消火も比較的容易なりしは不幸中の幸なりきと尙同日黑煙立昇ると見るや鍾路警察にては松井署長以下總員出動尙警務部にても池警務部長萩原副官其他の諸氏總監部よりは山形大佐本町署よりは宮舘署長等逸くも現場に出張して大に盡力したり

▲發火の原因及び損害其他に就ては所轄鍾路署に於て取調べ中

●瀆職事件公判

瀆職事件公判期は愈々明年一月十日と決し十二日各被告に對し呼出狀を發したり(高松特電)

●美しいサロメ

今夜の藝術座劇

本社より花環を贈る

壽座の藝術座劇は今十三日夜大切に旣報の通りであるが同座の『サロメ』は豐艶濃厚なる原作の味を傳ふるに於て日本一と稱せられ特に須磨子のサロメは橫濱の西洋人の好劇者の間にも好評を博したもので尙容易に他の追隨を許さゞる澤田正二郎のヨカナアンと共に近來の見物であらう、一番目の『嘲笑』『飯』は今の日本の社會劇として上乘の作で見應へある芝居であるから今夜及び明夜の壽座は滿員の盛況を呈するであらう尙ほ十二日夜千代本では須磨子に盛花を贈つたが本社からは今十三日夜藝術座の成功を祝するために須磨子に大花環を贈る

お光「……質に碌な忘れるとが出來ましたらけえ……」

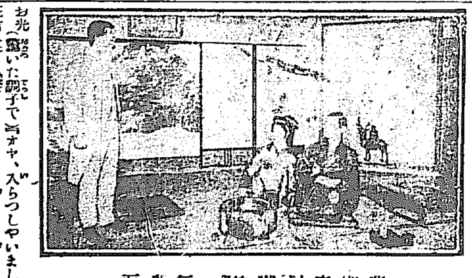
庄吉(獨言)「何うも仕方がないよ」

(突然、襖が開いて背廣服の幸介(婿)入り來る、頭髮は左右に分け、鼻下の髭を綺麗に刈り込んで、ネクタイには金ピンが光つてゐる、擧動に洒脫たる貴公子の風采が見える)

お光(驚いた調子で)「オヤ、入らつしやいまし。」

庄吉(少し周章ながら)「ヤア來たか、何うも御苦勞だつた……お光、座蒲團を……それから紅茶を一つ……」

幸介(ヂロ〳〵と見ながら)「イヤ、突然入つて來て御邪魔ぢやありませんでしたか」



藝術座劇「嘲笑」の舞臺面

●府民の大提灯行列

御大典御祝の府民聯合大提灯行列に關しては既報の如くなるが集合時間及び道筋其他注意事項を再錄すれば

▲集合時間 十七日午後五時 ▲場所 光化門前廣場一圓 ▲行列順 先著順 ▲道筋 光化門發―鍾路―京城府前―本町通り―新町―大和町―總督官邸(萬歲三唱)―倭城臺(開散)

尙ほ行列に關する一切の行動は係員の命に從ふものとし提灯其他の服裝に就ても相當禮儀を失せざる樣注意したしとのことなり尙ほ道筋は如上の如くなれども若し各町又は各團體等を代表したる高張提灯等ありて町或は團體の行列加はり居る塲合は成る可く前列を行進せしめ一般の參加者は此の後方に續て行進する樣されたしと

宗教界消息

▲京城日本基督敎會(長谷川町)十一月十四日午前九時五十分より日曜學校、午前十時說敎『眞の生活と其成長』同日午後七時半『愛者之幸福』井山牧師

▲メソヂスト敎會(旭町二丁目)十四日午前八時四十五分日曜學校、同十時禮拜、說敎『神的引力』瀨岡牧師、午後七時半傳道說敎『福音の力』瀨岡牧師

▲妙心寺提唱 臨濟宗妙心寺別院にては十四日午前九時より臨濟錄の提唱ある由

●乘車券の應用

仙臺市北四番町當時龍山漢江通り八島爲次は大正三年五月中……小林きよと共に栃木縣黑磯町より渡鮮するに際し右のパスありたるを利用……發見押收され京城地方法院に於て合議裁判に附せられ懲役一年の判決となりたり……より呼寄せ京城にて二箇所の料理屋に酌婦と住み込ませ次で平北宣川邑……於て懲役四箇月に判決となりたるを覆審法院に控訴せしも棄却となる

●服チストマから自殺

永登浦署管內始興郡……君子(二十一)は二十一……

天氣 晴 西の風晴 十一月十四日 日出 七時十分 日沒 五時廿五分

冷込は女に一番禁物

▼子供の無いのも是がため

▲豫防法は唯此方法有る耳

昔から『女の腰は火にいけよ』といふ諺が出來て居るのを見ても御婦人は兎角冷え易いものであるといふ事が知れる腰脚の冷えて困るといふ人の話を聽くと百度の熱の夏の眞盛りでも尙ほ冷えるのであるから此冷えるといふ事はたゞ氣候の爲めだと許り思ふて居ると飛んだ間違が起きる

腰や脚の冷えるのは血液の循環の惡い爲

て一體心臟の弱い人や身體の虛弱な爲めに冷えることがあるが一番著しく且つ多いのは子宮病から來る冷えで若し子宮に故障があると脚の先などまで思ふ樣に新鮮の血液が輸られないからそれで冷えるのであるであるから人並以上に腰や脚の冷えるといふ人は先づ子宮の何處かに故障の有るものと見なければならぬ子宮の故障といつても其種類は色々あつて一々此に述切ないが素人がよく子宮病といふのは大概子宮內膜炎の事で此病氣は漢方醫は白帶下(こしけ)といつたものだこしけの原因症候に付ては後日に譲るとして此にはたゞ

こしけの療法に付いて

一言すれば、食物は什麼物を食べるか藥は何が良いか?と申せば此病氣に罹れば身體が衰弱しますので熱が有る時は粥、牛乳、スープ等を熱が除れたら豆腐だの魚肉だの兎に角消化し易い滋養品を執つて腹部を溫め精神をさわやかにして身體を安らかにする事が第一番でありますが一方に津村順天堂の中將湯第三加減藥を服用して常に宮壯散の溶液で膣內を能く洗滌し夜分お寢みの時には必ず子宮座藥中將球を挿入れて置けば身體の內外相應じて効果顯はれ恐しいこしけも立所に全快する事が出來ます

然らば此冷えるといふ事は氣候と關係の無いものかといふに決してさうでない、一體寒氣といふものは女に一番毒なもので若し女が寒氣に冷え込むと前に揭げた場合と反對に冷込みが子宮病其他の婦人病の原因となる事があるまた子宮病に罹つて居る人は寒氣の爲めに冷込めばそれが爲めに益々病勢を重らせるといふ結果になるから、ドノ道冷込みは女に禁物と心得ねばならぬ、就中妊娠中月經時産後に身體を冷やすと往々流産や子宮病の原因となるのであるそれから統計學者が出産屆によつて其妊娠した月を調べた結果は妊娠は概して春から夏にかけて多く秋冬の雨季は少なく大寒は甚だ稀であると報告して居る鷄に例へて見ても寒卵を産む事は稀であるし又寒い土地に居て子供の無い人が溫かい土地に移つてから初めて子供を儲けた例は、隨分……

寒氣は姙娠を防ぐから

といふ事は爭はれぬ事實である、されば姙娠を望む婦人は此頃の寒さに冷込まぬ樣特に身體を溫かにして置く必要ある事は勿論、現に婦人病に惱みつゝある人、又身體丈夫な人でも身體を溫めて冷込を豫防する事を忘れてはいかぬ

冷込豫防に何が一番よいか

といふに中將湯を飲むがよいと斷言するのである中將湯が保溫に對して特獨の効力のある事は世の識者は既に十分認めて居る處であるがまだ實地に試みた事の無い人は寒氣激しき今は試驗の好時季であるから是非一度試みて戴きたい朝起きた時一寸一服服めば一日中身體が溫かで從つて運動は敏活になり山なす仕事も片端から仕終るし、夜休む時一寸一服中將湯服めば一晩中溫かに安眠が出來る中將湯は到る處の藥店にあり升本舖は東京市日本橋區通四丁目津村順天堂大阪支店又は大阪市大寶寺町津村順天堂支店であります容體詳しく御申込みあれば加減藥があります一週間分七十五錢四週間分二圓五十錢です

警視廳免許　內務省東京衞生試驗所　內務省大阪衞生試驗所　東京市衞生試驗所　大阪市衞生試驗所　農商務省工業試驗所　試驗濟

無害　赤毛染

安全コクオーは……從來のしらが染の如くまけたり、かぶれたりする氣遣は少しもありません　ホントニ　安心して染られます

安全コクオー

安全コクオーで……染た毛は永く褪けません　故に二回目からは生際だけを染ればよろしい　ホントニ　德用な白髮染です

德用　赤毛染

專賣　大阪堂島　高橋盛大堂藥局　同心齋橋　高橋盛大堂分店

……之を驛長に提出することを失念し其……九十二錢の汽車賃を免かれ更に湖南線に赴き太田より豆碇に向ふ途中車……いよ／＼あの娃に當る渡邊さわよが內地……橫領消費したる爲め京城地方法院に……同署に引致さる

……檢視の上死體は妻へ引渡す

各地恩赦

▲清州 清州分監にては十日夕刻減刑令發布の報に接したれば取急ぎ準備に着手し十一日午前八時より在監人全部百七十三名を前庭に集め山田檢事立會し恩赦減刑を執行す櫻井警務部長、宇野判事、齋藤署長、松尾教誨師等の臨席あり三上分監長より聖旨の優渥なること皇恩の無窮にして囹圄の罪囚迄に霑びたる所以を懇々と說き聞かせたれば態度愼重謹肅にして何れも聖恩の廣大無邊なるに感泣せざるはなかりしが恩典に浴せし者の內二人の內地人は今更の如く前非を悔ひ善心に立歸り皇恩の萬一にも報じたしとて悔悟の眞情面に現はれ感涙に咽び居たり因に恩典に浴せし者百四十三人中刑の四分の一を減じられたるもの七十二人內女七人殘刑期の二分一を減じられたるもの七十一人內女四人なりと

▲公州 忠南公州監獄にては今回の御大禮に當り恩赦減刑仰せ出されしにつき同獄囚人の減刑に浴せしもの合計三百三十三人にして竊盜罪六十二名、强盜罪百三十七名、詐欺脅迫罪十八名、橫領罪十一名、贓物に關する罪一名、通貨僞造罪十二名、文書僞造罪四名、僞證罪二名、猥褻姦淫及び重婚罪十五名、傷害罪十九名、殺人罪二十五名、誣告罪二名、公務執行妨害罪一名、囚徒逃走罪一名、阿片烟に關する罪一名、放火罪十二名、略取誘拐罪一名、郵便法違反に關する罪一名等にして減刑傳達の電報到るや典獄中村甫男氏以下各員各房囚人に對し今回御即位大禮を行はせらるゝに依り恩赦減刑を仰せ出され聖恩の仁慈なるを訓諭したりしが各囚人宏大なる聖澤に霑被せるを感泣したり尙公州地方法院に於て減刑に浴せしもの執行猶豫者中二十人刑執行停止中の者三人假出獄中のもの二十一人なり

▲安義兩獄 安東領事館監獄の現在囚徒四十三名の內八名と新義州分監獄二百九十四名の內二百八十五名は何れも今回減刑の恩典に浴し十日之が傳達式を行はれたるが何れも聖恩の洪大なるに感泣せり

▲光州 全南光州監獄は勅令第二百零五號に據り十一日在監囚徒に對して減刑の言渡しを爲したるが其の恩典に浴せるもの四百二十名にて典獄則近喜代熊氏は御大典に際して汝等に此の恵澤を蒙はりしを感銘し將來は忠良の民となりて邦家の爲め盡すべしと述べ教誨師遠藤眞海氏は一場の說教を爲したり而して減刑囚徒は喜色滿面全く寢耳に水の福

◉元山大禮奉祝 二千名の旗行列

▲市民合同大祝賀會 元山に於ける市民合同の御大禮奉祝會は十四日午後三時より停車場前の大廣場に於て開催したるが出席者二千餘名に達し三時三十分全市の汽笛一時に鳴響くと共に會長の發聲にて陛下の萬歲を三唱し招待せる高齡者七名に對し餅一重ねと神酒一榼宛を贈り一般會員には紅白饅餅と神酒を分配して散會せり

▲軍隊各官衙の奉祝 元山の守備隊及び各官衙にては午後三時三十分を期し一同整列して萬歲を三唱し式を終るや直ちに打連れて市民大祝賀會場に臨席し民間側と共に祝盃を擧げたる後一同にて旗行列を行ひたるが參加者約二千名に達したり

▲旗行列と提灯行列 官民合同の旗行列は午後四時祝賀會場を出發して近市場に至り迂回して本町通を通過し府廳前に來りて 陛下の萬歲を三唱し午後六時散會したるが沿道は人垣を築き大混雜を呈したり、又當日元山小學校及び普通學校生徒多數も旗行列を擧行したるが夜間市民有志等の提灯行列ありて賑ひを極めたり

▲各町の美しき美飾 元山公立小學校にては十日奉祝記念の餅撒きを爲し紅白の饅餅一重ね宛を生徒一同に配付せり各町に於ける重なる催し物は春日町にては町內三箇所に大鳥居を作り大燈籠を吊し本通りには屋根の兩側に奉祝提灯を並列せり旭町にては大行燈を揭げ本町にては三箇所に大鳥居を設け萬國旗を交叉し各戶弓張提灯を吊し泉町にては町內三箇所に大行燈を揭げ櫻の造花を飾り附け其他各町は何れも美しき裝飾を施したり市內の各商店は店頭の裝飾を改め御大典に因める飾り物を爲す等全く市街の面目を一新せり

◉咸南記念事業

御大典記念事業として咸鏡南道各郡は模範里の設置記念林の造營等其々計畫中なるが道廳にては記念事業の爲め一般地方民の負擔を過重ならしめ又將來其の維持に困難を來すが如き事なきを期すべきやう注意を與へたる由新興郡に於ける記念模範林として加平、東古川、元平、永興の四箇面を選定せり德源郡に於ては府內赤田及び縣面の三箇面は面模範林を有するが故に之れを御大典記念林に

◉忠北記念植樹

既報の如く忠淸北道にては十二日午前十時構內に集合し四州四司倉里道模範林の記念植樹に向ひたり憲兵隊本部警務部裁判所病院憲兵分隊郵便局警察新聞社員等殆ど總出にて無慮二百餘名各々服裝甲斐々々しく或は徒步又は自轉車にて坦々たる鳥致院街道を約三十丁麗かなる御大典日好の吹き來る金風に袖を拂ひつゝ現場に到着したるは十一時頃なり各目鍬を採て一年生アカシヤの境界木一千餘本の植樹を終へ一同高丘に集まり齋藤第一部長々官代理として一場の挨拶をなし 天皇陛下の萬歲を三唱し一同之に和し冷酒及び道種苗場が荒蕪地を開墾して收穫したる元氣芋に腹皷を打ち散會したるは午後一時頃なりき

◉東拓模範農村

東拓大邱出張所は達城郡壽城面泛魚洞の移住民二十三戶を中心として模範農村を組織せんとの計畫ありしは既報の如くなるが去る十日記念式を擧げたり今內容の大體を聞くに植樹を開始し規約の草案を作し發會是が目的は內鮮人一致協同地方の改良を圖り齊家致富忠君愛國の念を涵養するにあり組合を壽城面地方改良組合と稱し組合員は資產狀態家族現況等を組合長に報告し相互の內情を明かにし益々模範的農村生活を營むにありと

◉大邱水道近況

大邱水道工事は其後著々進捗し七月以來配水塲より淨水地まで導水管敷設中なるが十四日までには僅かに四十五間の殘工事となりしも材料の都合により竣工は同月末なる可し然も一方配水地より淨水地に向ひ十一月より送水管敷設に著手し來年五月までに終了の見込みにて全體の工事は意外に早く進みつゝありと

◉安東縣の初雪 十日御大禮當日

數日來快晴なりし天候は十日御大禮當日に至り俄かに變りて朝來曇空を蔽ひ風さへ加はりて一層寒冷を覺ゆるに至れるが正午頃より雪降り出し暫くにして歇みしも午後四時頃より更に六花繽紛として至り之に烈風加はりたれば今にも大吹雪と化せんかと思はれしも約一時間餘にして降雪全く歇みぬ是れ今年の初雪にして昨年に比し二十一日早し

◉安東記念館

工費約一萬五千圓を投じたる大典記念安東物產館は既報の通り過般落成を告げたるに依り建設請負長吉田領事は官民有志者百數十名を招致し十四日午前九時より新築落成式を擧行する由

◉錦江架橋式

十二日午前十一時錦江橋開通式擧行神官の祝詞に次で道長官祝電、警務長祝辭、遞信第一部長の祝詞、池公州郡守の祝詞初人藤澤一雄氏の祝詞等あり君が代の奏樂終りて藤澤一雄一家三夫婦渡初成亨運三夫婦を先頭に渡橋し百三間の橋上へ八を以て埋まり三石の餅と朝鮮より寄贈の烟草數十函大廣場にて頭上より撒き終りて舟にて拱北樓上の祝宴に歡を盡して散會せり

◉木浦雜信

▲木浦貿易 十月中に於ける當港貿易額は輸移出二十一萬三百七十八圓輸移入十七萬か千六百八十二圓合計三十八萬六千七百圓にして前月に比し輸移出十一萬七千四百卅六圓の激增を示し輸移入七百四十四圓合計十一萬八千百八十圓を增加したり

▲棉花と停滯 棉花は其後益々出荷多く四日計本浦廻著高は三百十萬斤榮山浦三日計三十一萬斤光州三十一日計三十五萬斤なるが各販賣所にて既に買收濟のものを合すれば優に五百萬斤を超過せり從て各工場共連日繰業しつゝあるも遺憾ながら肝腎なる船腹不足の爲め移出すること能はず商船會社支店にても種々努力し居れども出廻りの早かりし爲め急速に廻船し得ず本日迄僅に二千餘個を搬出したるに過ぎず而も來る十三日頃迄船腹なき爲め自然三四千個の停滯を見るに至るべく繰棉會社は之等の措置に付目下苦心中なり

▲十八銀行重役 副頭取永見寬二監查役山田又三郎の兩氏は木浦支店行務及び目下新築中の同支店工事視察の爲め來木六日は當地銀行團の晩餐會に臨み七日は各官公署會社等を訪問せり

▲鮮銀泉末治氏 木浦出張所長より群山出張所長に轉任せる泉氏は後任松田氏の著任を待て本月二十日後出發の筈

◉連絡船上陸客 十二日午前

釜山入港新羅丸一二等客 一等(五名)岩崎眞雄、富安良一、西宮眞寧、大森……二等(二名)河伏幸吉、同リ季、中村眞雄、……板倉千次郎、三等(百十名)

商況

東京株式特電

	十三日前場寄付	大引
日本郵船	一二二、九〇	一二三、一〇
日韓大斯	……	……
鐘淵紡績	一二三、四〇	……
新株上同	九三、八〇	九三、七〇
日本麥酒	……	……
東株第一	一八一、二〇	一八一、一〇
東株第二	一八三、六〇	一八三、三〇
東新第一	一五二、五〇	一五二、九〇
東新第二	一五三、四〇	一五三、四〇

債券現物特電

十三日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	……
日韓瓦斯	……
朝鮮銀行	一四〇、〇八
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	……

東京公債直取引

十三日出來値段(前日との比較)

五分特別	九七、七〇
五分利	……
一回四分	八〇、六〇
二回四分	……
甲五分	九五、六〇

深川在米特電

十三日現在高

朝鮮米	三七、四八〇
外國米	六六、四〇〇
內地米	一五〇、〇八六

東京期米特電

	十三日前場 十一月限	後場
寄付	一三、八〇	……
高値	一四、八〇	……
安値	一三、七五	……
止め	一三、七五	……

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十二日後場引値	十三日前場
宇治川水	五〇	……	六八、八〇
神戶電鐵	五〇	……	……
京阪電鐵	五〇	……	四四、〇〇
紡績出	二五	……	……
合同紡績	五〇	……	……
鐘淵紡績	五〇	……	一三三、四〇
同上新株	三〇	……	四〇、〇〇
東洋拓殖	五〇	……	三七、二〇
大阪商船	五〇	……	六八、七〇
日本郵船	五〇	……	一二七、〇〇
大阪米穀	五〇	……	一五八、〇〇
東京新株	二五	……	[illegible]
大阪株式	五〇	……	[illegible]

大阪三品特電

▲十三日前場

	寄付	大引
十一月限	一一五、六〇	一一五、六〇
十二月限	一一六、七〇	一一六、九〇
一月限	一一七、三〇	一一七、四〇

大阪期米特電

▲十三日前場

	寄付	大引
十一月限	一一五、六〇	一一五、六〇
十二月限	一一六、七〇	一一六、九〇
一月限	一一七、三〇	一一七、四〇
二月限	一一八、四〇	一一八、五〇
三月限	一一九、六〇	一一九、二〇
四月限	一一九、九〇	一一九、八〇

下關期米特電

▲十三日前場

	當限	中限	先限
寄付	一三、三九	……	……
先限寄付	一三、四一	……	……
	一三、九四	……	……
	め止		

▲十三日前場(弱氣筋に盡ふ强氣見送り)

朝鮮物產特電

	當限	中限	先限
寄付	一三、八〇	一三、九九	一三、二九
高値	一三、八〇	一三、九九	一三、二九
安値	一三、七七	一三、八〇	一三、三三
止め	一三、七七	一三、八四	一三、三三

銘柄	値	銘柄	値
馬山改良	一二、一〇	釜山大豆	八、二〇
群山改良	……	慶山大豆	……
釜山改良	一〇、〇〇	浦項改良	……
木浦優良	一〇、〇〇	元山別	……
同改良	一〇、〇〇	端川大豆	……
群山特良	一〇、二〇	城津中大豆	……
同改良	一〇、二〇	長湍大豆	……
仁川改良	一〇、〇〇	鎭南浦大豆	……
南浦改良	一〇、二〇	仁川小豆	……
釜山上白	一一、〇〇	宜川大豆	……
釜山中白	一一、〇〇	平壤大豆	……
仁川上白	一一、〇〇	群山大上	……
仁川中白	一一、〇〇	木浦大豆	……
仁川雄白	一一、〇〇		

雜報

◉製粉と內地市況

原料小麥は引續き實物難にて各地の氣配は米價高の影響を受けて一段强含みたり爲に各社は九升迄買進み居る狀態なれど何分品薄に附込み新手合は八升八合以下には賣應ぜず然るに製粉の現況は現物二圓四十五錢

◉鐵板昂騰す

洋鐵內地相場……の暴騰は……地に於て……あるものは鐵板にして殊に……向ひつゝある時期に……昨今續々入荷のあるに拘はらず……

十三枚物に付一圓以上の昂騰

告げ……既に十圓以上に取引せられ……內地現今の相場にあれば……一段高値に釣上げん模様なり

十三圓方暴騰

告げ居れる……

◉食鹽益々旺盛

漬物時期としての鹽の需要は例の如く一時に大注文の舞込む……本年は寒氣の到來遲れ氣味なるも……

需要の期間は却て永し

値上約二錢方

供給不足を感ずる事無き

を以つて荷動き頻繁の割には入氣落付居れり

◉新明太魚前氣配

江元道沿海の明太漁況は可成り好況の模様にて同方面の新物は既に昨今約定商談を進め來りつゝあるが賣人側の唱へは二十三四圓より五圓にて未だ一定の相場は確ち……

三 顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 ヤマサン ビキン 仲買店 電話四五三番

◉牛皮の變調

大阪牛皮市場は……

格落

平均五圓方

中皮は凌ぎ

惡弊釀生

惡辣の手段

田中 仁川米豆取引所仲買人

田中米穀店 仁川海岸町三丁目 電話長六二八番 五二番

標準米は普通取引

先物は二圓五十錢といふ打算にて……

◉樺太鰊と初荷

第一回の著荷

五圓五十錢

◉梨は大暴落

荷間へ振合

下關相場

(イ) 今村覺次郞

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 三六八番 電略イ又 ハ「イマ」

各地商況

○釜山(十二日の穀物)

京城正米

南大門廻着米

仁川現物市場

仁川期米

▲十三日前場 大阪前寄十三圓九十二錢 六錢安の入電

仁川米豆取引所

十三日の一月限

前場 寄附 高値 安値 出來 引 比較

	一節	二節	三節	四節	五節
買	九圓三十九錢	九圓三十八錢	九圓三十九錢	九圓三十七錢	三千百石

平均値段

一節	九圓三十九錢
二節	九圓三十八錢
三節	九圓三十八錢
四節	九圓三十八錢
五節	九圓三十八錢

十一月限 十二月限 一月限 出來値比較

寄附	九、四一
止め	九、四〇
高値	九、四二
安値	九、四〇

趣味ある高低

北濱だより

▲臺糖の昂騰

小賣白米

市場零聞

▲前場の商戰

▲依然動かず 依然乘り薄

▲檢米の成績 格下品合格 本日も引續き

▲新動機竢ち

▲騰落何れ乎 益々氣迷ひ

演藝案内

壽館

電話一〇五〇 本町

御成座

電話二九一 小島旅之助

大正館

電話八七三番

有樂館

本町一丁目 電話二六六

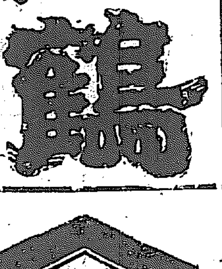
浪花館

明治町 電話二六〇番

黃金館 龍光館

電話二六三七 龍山停車場前 電話(龍山)四番

優等清酒 一鶴



京城本町四丁目 電話六五四番 本莊酒店

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油醸造場

醇良清酒 大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎 京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

模範 牛乳 純粹 培養 ヨーグルト 京城 東亞牧場

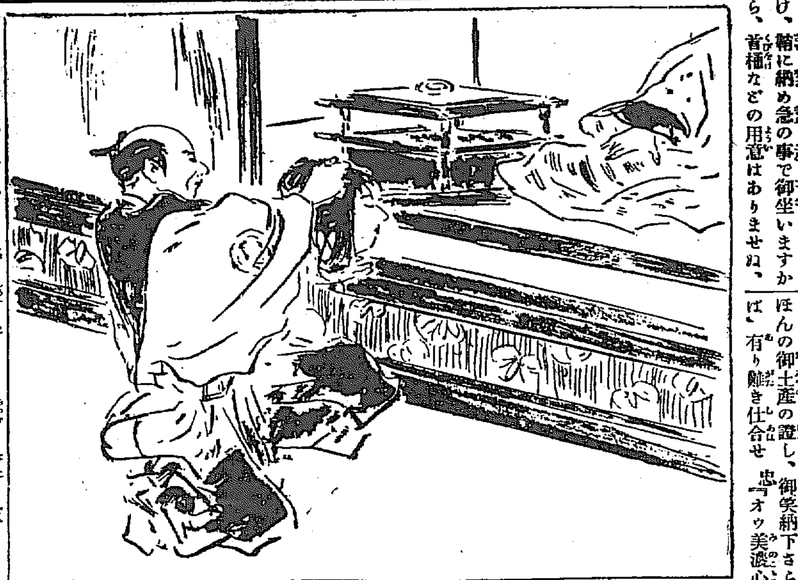
水銀 新荷著 保稅品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五番

越後大評定

第四十三席　早川貞水口演

土産と云は女の生首

そこで金三郎一疊見にも御答が出來ねるから　金『松屋さん宜しう御坐いますか　三『私は宜しいので御坐います、既う私共御當家へ上げたので御坐いますから、如何やうにも　美『双方とも承知か　金『ハア、否やは御坐いませぬ』そこで美濃守ギラッと一刀御抜になる一同『アッ』と後へ退る　美『驚くな』と仰つしやつて『エイツ』ブツ、お千代の首を其處へ御打になりました、其から刀に拭をかけ、鞘に納め急の事で御坐いますから、首桶などの用意はありませぬ、



新しい御櫃の中へ首を入れ、之を白き布片に包み　美『確かに申し受けた』金兵衛出牢の儀は此方取計ふに依り左樣心得ろ　金『ハア恐れ入ります』そこで御乘輿に乘つて『エー、ホー』福井城さして御登城、後に一同ほつと一息、此方は忠直公、相變らずの御酒宴、尤も晝夜の別ちは御坐いませぬ、所へ　○『申し上げます　忠『何事ぢや　○『只今小栗美濃守御登城に相成りました　忠『ナニ、美濃が參りしか、ソレッ、杯盤を下げえ　○『ハツ』忽ちに杯盤を下げる御席が更まる、殿樣美濃守と御聞きになつて、愕然して御在でなさる所へ、小栗美濃守御前へ進む、忠直公威儀を正し　忠『美濃出でたるか　美『是は／＼久々にて麗はしき尊顔を拜し、恐悅至極に存じ奉る　忠『其方にも變りし事はなきか　美『有り難き仕合せ、

幸ひ重次老年なれど、諏訪高島に在つて其の身健全、これも主君の御蔭と存じ奉る　忠『何用ありて先觸もなく、突然其方まかり出でたるか　美『臣下の身を以て、何とて先觸など仕るべき、今日は、暫く尊顔を拜せず、如何遊ばされしと、御機嫌伺ひのため參上仕りました、就きましては美濃何物か珍らしき物、差上げ度存じましたが、是れと云つて別段の物も是なき所、圖らずも主君の御好物の品を得ましたに依り、ほんの御土産の證し、御笑納下さらば、有り難き仕合せ　忠『オゥ美濃心を込めたる土産、何物か存せぬが、過分の儀である、コレ近侍　近『ハッ　忠『あれなる美濃の何やら持參の品これへ持ち參れ　近『ハ、ハッ』美濃守なにやう風呂敷に包んだ物を出しましたから、御近侍何物か知らぬと、謹んで受取り、御上の御側へ持つて出まする、何だか中は函のやうである『ハテナ、大分重いが何物だらうか知らぬ』と御近侍は殿樣の御前へ其物を据え、禮をして以前の席に著き、遙に此方で、皆何物を御持參で、あらうと思つて居ると、殿樣御手づから風呂敷を解かれる、中は御櫃、貴ら大名でも、御櫃ぐらゐは御存知、尤も町家の用ゐる御櫃と異つて、御上方のは、ちやんと黒く塗りまして臺の上にある、其物とは異ふけれども、其位のことは御存知、何物であらうと、蓋を取つて御覧になると驚いたのは忌はしき女の生首で御坐いますから、首はコロ／＼、ボーン向ふへ御投げになる、其處へ轉がる、忠『美濃、忌はしき女の首、予の好物の品とは何事、不禮なり控へ居れ』美『アイヤ御無理なるその御一言ツ御覧あそばせ、是なる所の首級は、よも御見忘れは御坐いますまい』髻を緊乎と握り、手を當て、御覧に入れる。

泌尿器病専門　入院隨意(診療夜九時迄)
腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　疳瘡　皮膚病
永樂町二丁目　金光教會隣　安部醫院　電話四一九番

諸病に奇効ある奇石治療を奏する　去四日の夕刊記事を見よ
治療所　永樂町本願寺前　酒井

十一月十五日九星　舊十月九日　庚戌　本命五黄　八方閉　赤口

▲五黄　決斷のつかぬ事有り　新事に合ひ南方は吉　晴雨なし　▲六白　營業よき日　轉居　旅行　商人學生は吉　家作婚禮は凶　漁七五三の日　▲七赤　旅行入門は吉　名弘め求職は凶　婚禮は忠言の日　轉居入門行　名弘求職　川漁婚禮　▲八白　氣に入らぬ事多き日　新事にも手を出さず吉　女子は自ら氣を守るべし　▲九紫　新事着手は吉　保證捺印　轉居行　入門　名弘　出漁　屆入　金借　總ての事有日　新事手段有日　新事手始め　諸事物に勝の日　▲一白　相續名跡　皆吉　物事の日　▲二黒　新事手続を植ゐるは吉　頼み事は吉　▲三碧　獨り天狗の事有日　散財を防ぐべし　▲四綠　平運の日　新事は吉　旅行は凶なし

●電氣界の新刊書　遞信省牧師若月田工學士同高津工學士の兩氏が滿三ヶ年の苦心により本年八月完成せる『電氣工學ポケットブック』は本邦電氣界に於ける唯一の良書と稱せられ前の好評を博し初版再版各五千部忽ち賣切れ今回第三版を發行せり本書の内容は日本文にて電氣工學全般を網羅し平易詳述圖解せる六號活字總數千九百頁挿圖四千二百有餘の實用的良材の美裝釘にて斯學の研究に好の參考書たり且つ本書は電氣技術者實務檢定三級四級の受驗者に最も好參考書たり折柄同界の要求に應じ是非必要なる書なり(特價四圓送料金十八錢　東京市京橋區南傳馬町　建築書院發行)

惡疫豫防と「柏村博士のヘルプ」
▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり
▲故に此際何人も腸胃の健全を主とするヘルプを服用せよ

主治効能　▶暑傷　水傷　食傷　腹痛　霍乱　食過ぎ　吐瀉　溜飲　胃カタル　腸カタル　下痢　胸やけ　冷え腹　その他を治す
定價　十五錢　卅錢　一圓
本舗　東京市日本橋區本銀町　津村敬天堂
各地賣藥店

りん病
自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一剤を試よ切手三錢送れば其妙薬と自宅療法の詳細を報ず　多年の慢性も困る方
名古屋市南かじや町　武藤良吉

化粧品販賣　御同業各位へ警告

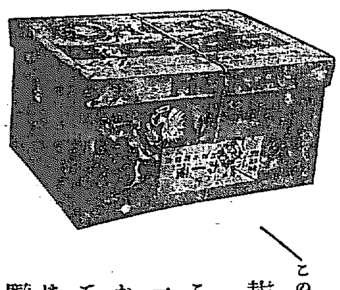
東京で一番よく賣れる美人となるホーカー液をお使ひ下さい

謹啓晩秋の候各位益々御清榮之段奉大賀候陳者弊店發賣の化粧料ホーカー液の儀品質の優良と各位の御深厚なる御同情とにより東洋第一の賣行を示すに至り申候段誠に難有御禮申上候就而本品の多大なる賣行を羨み粗惡なる偽品、擬品を販賣し以て國家産業の發達を阻害し且つ本品の名譽を失墜せしめんと企つるトンビ的商人有之候、右の如き業界のバチルスに對しては峻厳なる手續相運び之が撲滅を期し居候へ共尚各位を蹈著せんとする不正商人有之哉も難計右偽品擬品を御取扱の節は現行商標法及現行民法により刑事責任を免れず、且つ現行民法により訴追せらるべきを以て充分御注意被下度候尚弊店出荷のホーカー液には、その包紙、能書、瓶張函等凡て堀越嘉太郎名義の下に〔商標〕の捺印有之候又小瓶(一打函)中瓶は半打函)毎に必ず景品券又は報酬券一枚を添附し報酬券入〔商標〕或は景品券入〔商標〕の消印有之候間よくよく御留意被下度御愛用者各位には一打宛御買求め被遊候方御徳用且つ安全ならんと奉存候尚不正商人有之候節は乍恐縮御一報相煩はし度此段御依頼旁御警告申上候

東京市神田區柳原河岸(和泉橋)
ホーカー化粧品本舗　堀越嘉太郎商店

この〔商標〕に御注意／
ホーカー液小瓶包装の圖

瓶張、能書、包装等堀越嘉太郎名義の下にこの〔商標〕なきものは偽物と御認め被下度候

ホーカー液一打入函の圖

この封紙と封緘に御注意
この一打入函には各一箱毎に必ず報酬券か景品券か一枚宛入れてあります、なきものは偽物と、御認め被下度候

東京で一番よく賣れる美人となるホーカー液をお求めなさい

ベルベット石鹸

是が最も有名なる高等化粧用入浴用ペルベット石鹸是非御試を乞ふ
製造元　日本リーバーブラザース株式會社
V9—B

小兒用大學目藥

十歳以下の小兒の眼病には特に研究配劑せる小兒用大學目藥を御用ゐあれ。
●各藥店にあり定價十錢

生殖器の復活
發育不完全、包莖、陰萎、遺精、早漏、勃起衰弱、感覺減少、腦神經衰弱等の患者は速に自宅で秘密に眞空療法を施し強健になる空前の奇効を知られよハガキで照會次第博士證明の(眞空療法解説圖入)を無代寄送す
▲最新の學理は獨逸ボーン大學教授アウグスト博士の發表
▲巧妙なる治療器は日本政府の新案特許品にして最も完全なる治療器也
▲素人自宅秘密用効力一回毎に日に見へて博士大家の賞讃湧くが如し
▲大阪に類似品の通知ありて注意せよ
▲僞品あり警戒せよ
東京神田かぢ町五(電話神田七二二番)
東京眞空療法研究所

大日本優良清酒等
ハックル
品質純良　衞生無害

釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町四丁目十四番戸　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

眼科　内科　小兒科　入院隨意
京城黄金町三丁目赤門通(電話二四三番)
本田醫院　院長　本田建義

朝鮮煙草株式會社
조선연초주식회사
京城義州通
電話一八七番
兩切煙草　パラダイス　十四本入　金武錢
兩切煙草　ホワイトコスモス　二十本入金武錢

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高覽に可應候
京城日報社　寫眞製版部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行		
秀吉丸	十一月	日後四時出帆
君が代丸	十一月	日後四時出帆
神代丸	十一月	日後四時出帆
大有丸	十一月	日後四時出帆
第二太湖丸	十一月	日後五時出帆
○群山、大阪行 土海丸	月	日後四時出帆

仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路(南洋航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行		
×漢城丸	十一月廿二日	
温州丸	十一月十八日	午後五時出帆
△須磨丸	十一月十四日	
○木浦、釜山、長崎行▲は巖原獨の浦に寄港		
×安東丸	十一月廿四日	午後二時出帆
×▲天智丸	十一月十九日	
○鎭南浦、大連行		
×安東丸	十一月二十日	午後二時出帆
×天智丸	十一月十四日	
○木浦神戸大阪行		
○薩摩丸	十一月十五日	午後五時出帆
○群山、釜山、横濱行		
△千珠丸	十一月廿六日	午後四時出帆
△チヨイサン丸	十一月十四日	
○大連直行		
△千珠丸	十一月廿二日	正午出帆
△チヨイサン丸	十二月三日	
○清津、浦潮行(元山出帆)▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港		
地久丸	十一月廿八日	午後三時出帆
神宮丸	十一月十八日	
▲城津丸	十一月廿三日	
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)		
新高丸	十一月十六日	午前十時出帆
湖北丸	十一月廿四日	

御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候　○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二三番　二二〇番　五五〇
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行		
小倉丸	十一月十六日後五時出帆	
○元山城津浦鹽行		
小倉丸	十二月二日後十時出帆	
○門司、神戸、大阪行		
立神丸	十一月九日後五時出帆	
○元山、清津、浦鹽行		
文神丸	十一月十八日後十時出帆	
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行		
第三琴平丸	十一月	日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行		
第三琴平丸	十一月廿三日後六時出	
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行		
天眞丸	毎月二日九日十六日廿一日廿六日	午後十時出帆

本町一丁目 大池回漕部　木浦取扱店

阿波共同汽船仁川出帆

第一共同丸	芝罘、大連行	
	十一月十一日後二時入	
	十一月十四日前九時出	
大阪より四國、淡路、紀州に寄港阿波に寄港（申込は）及び一般貨物取扱共同並に元山出帆		
第一成鶴丸	城津、清津、浦鹽行(元山出帆)	十一月　日後九時出港
	十一月　日出	
第三共同丸	西湖津沿岸各港を經て雄基行	十一月　日前八時入
	十一月　日出帆	

阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番)山下回漕部　元山代理店 春日町(電話二四四七番)田口回漕部　京城取次店 大門電話(二六八、三〇一七)河村運送店

日本郵船仁川出帆

○三河丸 大連、太沽牛莊行	十一月	日午前六時出
○大連、太沽行		
高砂丸	十一月廿三日	正午出帆
相模丸	十一月三十日	正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　郵船回漕部

朝鮮郵船

本社　京城南大門通　電話(一九五二三三)

朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣　支店、出張所、代理店、回漕店に御照會を乞ふ
京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店(電話一一七〇番)

全羅丸	十一月廿四日	釜山發
京畿丸	十一月十四日	
黄海丸	十一月十八日	
咸鏡丸	十一月廿八日	
仁川より釜山各港寄港雄基間		
經城丸	十一月十九日	元山發
昌平丸	十一月廿三日	
鏡城丸	十一月十五日	
元山より各港經由雄基行		
平壤丸	十一月廿七日	元山發
忠清丸	十一月十七日	元山發
城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司		
永興丸	毎月廿八回	元山發
又は長崎延長　北久味、五里浦行		
嘉島丸	十一月二十日	釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行		
江陵丸	每日	(釜山浦項)發
鎭陽丸		
長生浦、方魚津寄港		
三浦丸	十一月十六日	釜山發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行		
海州丸、巨濟丸		每日釜山發
統營丸、慶尚丸		
各港經由國水行(三日目一回木浦行)		
順天丸	三日目每	木浦發
各港經由國水行國水より鎭山行に		
慶興丸	十一月十五日	木浦發
一、各港經由濟州島行(四回)		
公州丸	十一月廿三日	木浦發
一、南多島揚列島行(月三回)		
公州丸	十一月十七日	木浦發
一、各港經由濟州島行(東回)		
宗信丸	十一月十七日	仁川發
海州龍谷港經由、鎭南浦行		
江原丸	十一月十五日	仁川發
芝罘、大連、青島行		
麗水丸	十一月十八日	仁川發
晋州丸	十一月廿二日	仁川發
各港經由木浦行		
全州丸	毎日午前	仁川發
南陽丸		
江華島、桐荷島、海州行		
平安丸	十一月十六日	群山發
	十二月六日	若松發
往航 大黒山、木浦、門司、若松行　復航 門司、木浦、群山行		

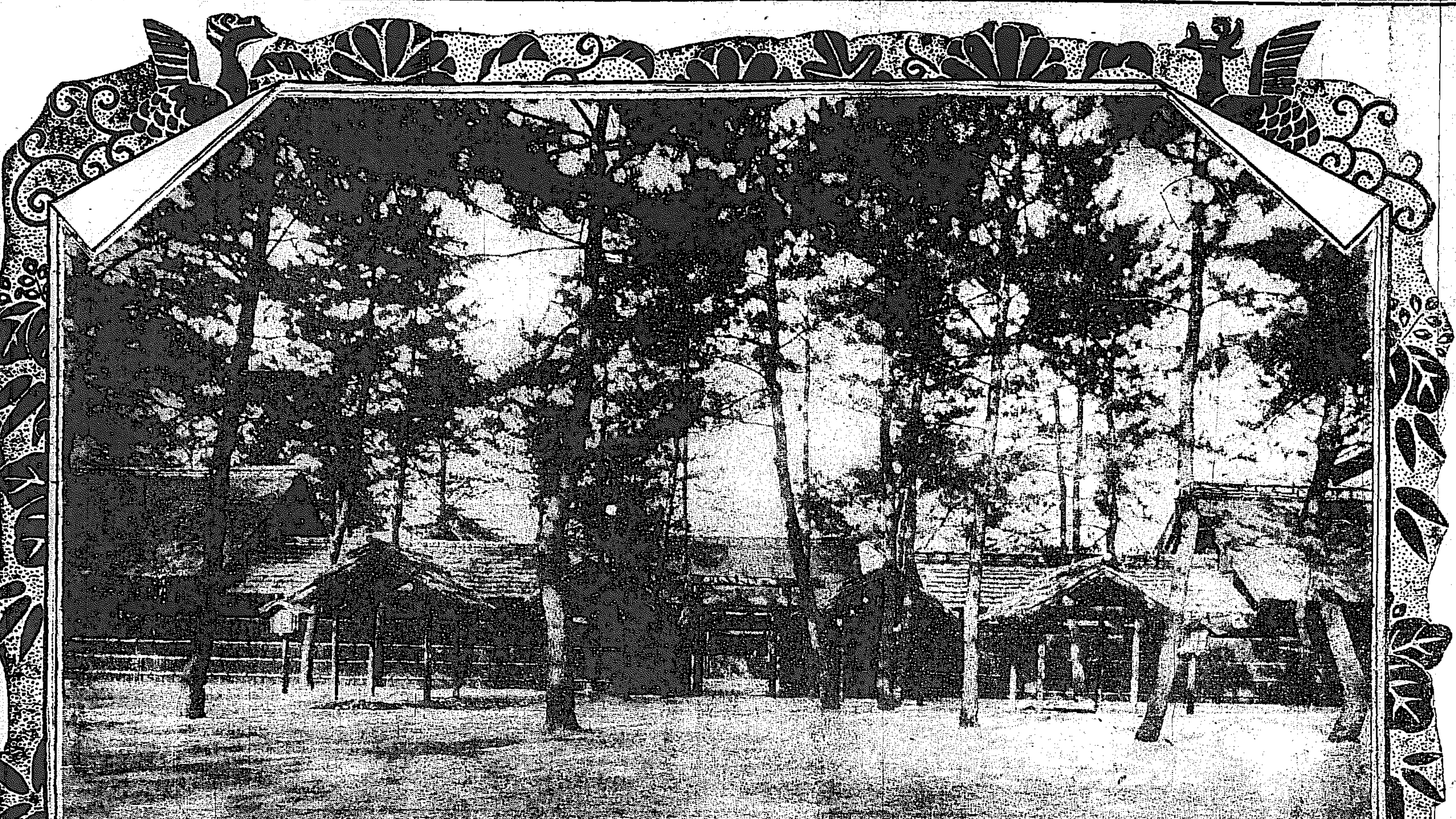
京城日報

第三版

年中無休刊

（第二千九百四十二號）

發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]　太平通一丁目　發行所 合資會社 京城日報社



大嘗祭

本日行はせらるる大嘗祭の御事

御即位式に引續き本十四日午後四時二十分より大嘗宮に於て行はるゝ大嘗祭は、天皇陛下親しく天神地祇を祭り、悠紀殿に於て夕御饌を献じ、主基殿に於て朝御饌を献じ、兼て陛下に於かせられても神々の御前に於て之れを召し上がらるゝ御一代御一度の大祭也、申す迄もなく神國固有の御祭儀にして、最も我が國體の精華を發揮せらるゝもの也

▽天祖始めて穀物 ▽の種子を得られ

て、之れを天狹田長田に植ゑて新穀を收められ、大嘗を聞し召して大嘗のこと之れより始まる、天孫降臨の御時、其齋庭の穗を賜ひてこの國に傳へ給ひ、よく地味に合してよき穀を殖しより瑞穗國の稱あり、毎年秋に至り新穀を神に献り、人も食せり之れを新嘗とも大嘗ともいひしが、いつの頃よりか、天皇御一代一度行はせらるゝを大嘗と稱し、毎年行はるゝを新嘗と稱する也、

▽大嘗宮は大嘗祭 ▽を行はる、建物

にして、悠紀殿、主基殿、神門、廻立殿、膳屋、廻廊、帳殿、小忌幄舎より成る、悠紀殿と主基殿とは内に神座の設けらるゝ所にして、東に悠紀殿、西に主基殿を設く、神門は南北東西の四門あり、廻立殿は天皇陛下の小忌の御湯を召し、御祭服を著かへたまふところにして、膳屋は神饌を調理するところ、廻廊は廊下也、帳殿は皇后陛下臨御の建物にして庭積机代物を濟くところ、小忌の幄舎は神事を奉仕する諸員の入るところ也、建物全部黑木にて

▽松の丸木の皮の ▽附たるに萱屋根

にして、柴垣の内は北山柴、外の方は、萩の柴にて作る、御儀式の當日は悠紀、主基兩殿内の中央に一丈二尺の御疊を敷き、其上に六尺の御疊を竪に二疊宛二重重ねて敷き、其の上に更らに九尺の御疊を七疊重ねて敷く、疊の下は御疊の南の端を揃へて敷く故に北方約三尺空く、其の空きたる處に御沓一双を北面に置き、七疊の内一疊は少しく東の方を引出し、其の引出したる處に打掃、御櫛、御檜扇など神の御用品を置き、一番上の御疊の南端に坂枕と申す御枕を置き、更に九尺の八重疊を敷き之に

▽薄絹の御衾を延 ▽て神の御寢所を

作る、以上は神座也、天皇陛下の御座は神座の東八重疊の中央邊より北の方へ寄せ、東南向きに小さき短疊を敷き參らす、而して三河國にて調進したる繒服と阿波國にて調進したる麁服の兩齋服を竹籠に入れて神座の北の方に置き奉る也、次に齋火（忌火）とて新たに火を鑽りて御燈を點す、此の燈籠は二種ありて黑木の方を燈樓といひ、白木の方を燈臺といふ、是れ即ち燎也、次に

▽庭積の机代物は ▽最とも意義ある

ものにして、神武天皇御東征の砌、橿原宮に御即位の禮を行ひ給ひし時諸國の臣民より土地の産物を献納したるに、天皇之れを嘉し給ひ、親ら天神地祇を清饗あらせらるゝに、是等のものを机上に盛り、南庭に列ねさせ給ひしより、世々の天皇此の例に倣はせられ、庶民より献進せる山海の産物を南庭の帳殿に安くこととはなれる也

十一日朝刊一面に奉掲せる御即位式勅語電報中左の如く訂正す
五行目『佑ヲ垂レ』は『裕ヲ垂レ』。七行目『奉持シテ』は『奉シテ』。十五行目『皇國ヲ恢擴』は『皇圖ヲ恢弘』。十九行目『販籍』は『永ク磐石』。廿三行目『昭鑑』は『照鑑』。同行『競々』は『兢業』
同ほ送詞の中（他文不明とせし處は『邦運の[illegible]』と分明せり

御寫眞　大嘗宮全景　左、悠紀殿　右、主基殿

朝鮮彙報共進會記念號第二

朝鮮彙報共進會記念號 第二

大正四年十一月一日（定價二十五錢 郵税二錢五厘）

●口繪
閑院宮殿下の共進會御成△噴水池を隔てゝ鐵道館及第二號館を望む△美術館○審勢館（平南）△第一號館第一部蠶絲△第二號館第九部交通△參考館織物、組編物及糸△參考館の外部（三色版）△此の外本文挿繪十數箇を掲出す

●閑院宮殿下令旨
●寺内總督奉答文
●殖民政策の第一義　東京帝國大學教授 法學博士 山田三良
●製鐵事業に就て　製鐵所次長 工學博士 服部漸
●中央製錬所と鑛業發達關係　農商務技師 細井岩彌
◎共進會記事概況
◎閑院宮殿下の御台臨
◎共進會開會式
◎褒賞授與式に於る審査長の申請辭
◎褒賞授與式に於ける寺内總督式辭
◎共進會閉會式
●出品物審査概評
●受賞者人名
●各種大會
◎第十三回日本全國料理業者大會◎朝鮮全道神職大會◎全國金物商聯合大會◎全國新聞記者大會◎内外鑛業家聯合懇話會◎赤十字社並愛國婦人會本部總會◎朝鮮鐵道一千哩記念祝賀式附朝鮮鐵道殉職者弔魂祭及勤續局員表彰式◎酒造業者及輸入酒商大會◎運輸業者大會◎平壤に於ける赤十字社、愛國婦人會平南支部總會◎水産大會◎醫學大會◎東洋協會通俗講演會◎藥學大會◎朝鮮金融業者大會◎朝鮮商業會議所聯合會◎朝鮮農會總會◎醫生大會

●投稿を歡迎す
原稿締切期限毎月十日
研究資料　官の調査と個人の研究とを問はず朝鮮研究に關する記事は努めて掲載す
地方通信　各地方の經濟事情、人情風俗、古蹟の紹介、其の他一般狀況の通信を掲載す
質疑應答　法令、經濟、統計等に關する質疑に應ず何人も本欄を利用し得べし
投稿は必ず記名とす但し希望に依り彙報紙面を匿名となすことあるべし

●販賣店　東京神田嚴松堂、朝鮮各地到る處の書店に販賣す

廣告

（一）協贊會賣店第一號ヨリ第十七號迄附屬便所附屬板塀共　一棟
（二）協贊會賣店第十八號ヨリ第五十號迄附屬便所附屬板塀共　一棟
（三）會場内無料休憩所 附屬腰掛共　一棟
（四）同上　同上　一棟
（五）南大門前案内人詰所 附屬便所共　一棟
（六）會場内朝鮮館食事場食卓腰掛及屋根　一棟
（七）會場内無料便所 建坪五坪　一棟
外活動寫眞腰掛　一式
（八）會場内有料便所 建坪十坪八合　一棟
（九）會場内朝鮮舊劇場 建坪百二十坪　一棟
（十）會場内不思議館 建坪六十坪　一棟
（十一）會場内ブランコ廻リ滑リ臺遊戲具　一式

右賣渡スニ付キ希望ノ向ハ本會ニ就キ現品及入札心得書等熟覽ノ上本月二十日午後一時迄ニ入札書提出セラレタシ
但シ即時開札ス
大正四年十一月十三日
京城協贊會

大阪府人及同縁故者に告ぐ

本會秋季懇親會開催可致候間大阪人及大阪に縁故を有せらるゝ諸氏は萬障御繰合せの上奮て御來會被成下度此段謹告仕候也

日時　十一月十五日午後正五時
場所　南山町一松葉亭
會費　金貳圓
申込期日　十一月十四日正午まで

申込所
南米倉町 三好和三郎
南大門通三丁目 京城寫眞館
同 新井藥房
明治町一丁目 小林藤右衞門
同二丁目 山野丑松
同 大島良吉
本町二丁目 池田長兵衞
同 木島時計店
同三丁目 三田政商店
同 中村政次郎
京城日報社内 北川吉三郎

京城大阪人會

新刊書御案内

大正五年日記

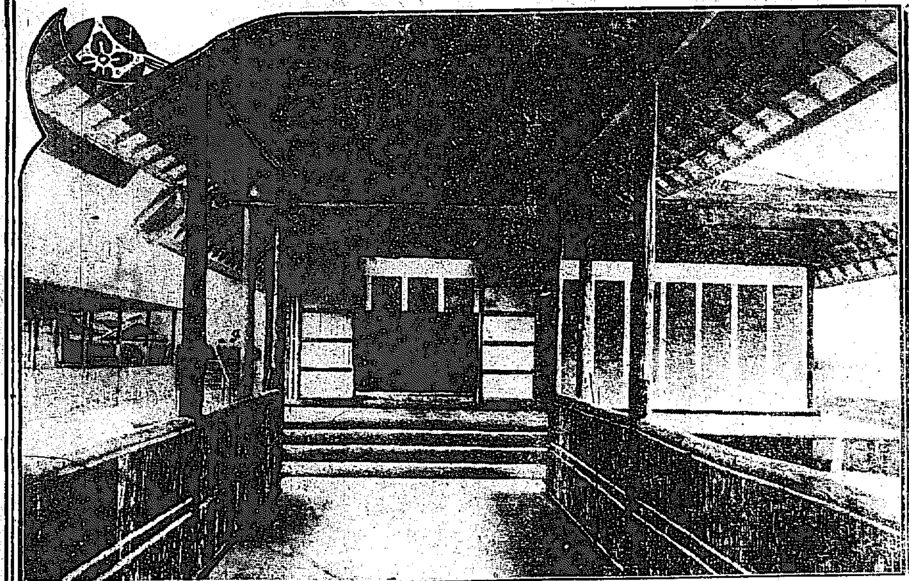
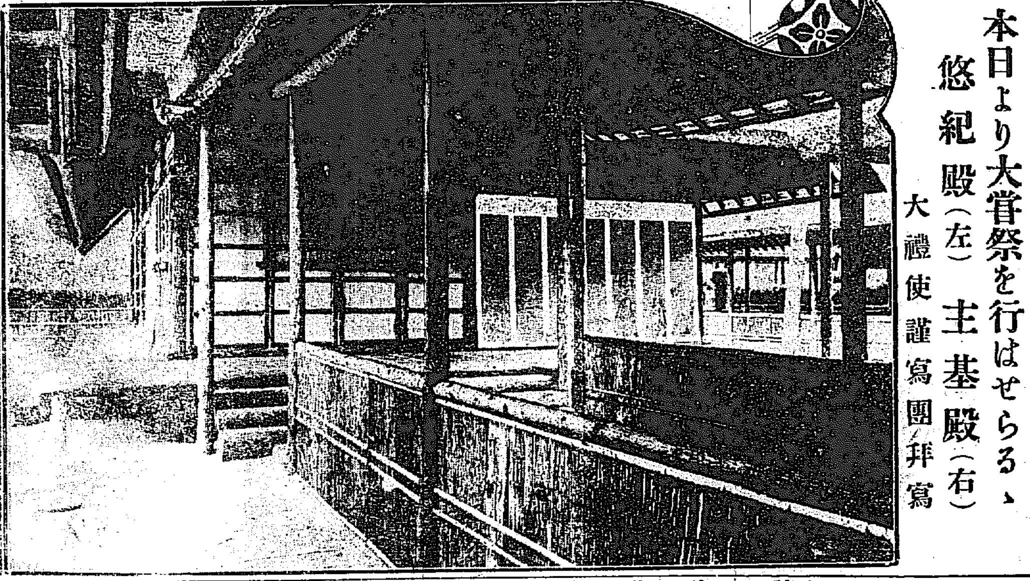
名	發行所	定價
重要日記	實業之日本社	.四〇
婦人日記	同	.三八
懐中ノート	同 總布	.二〇
同	同 紺皮	.三〇
農業日誌	文理堂	.四五
臺所勘定帳	同	[illegible]
國民日記	民友社	.四五
修養日記	東亞堂	.五〇
俳句日記	東雲堂	.四〇
短歌日記	同	.四〇
婦人日記	榎書舖	.三五
當用日記 特	同	.四五
同 上	同	.三五
同 小	同	.三〇
新式當用日記 總皮	同	.六五
同 總布	同	.四五
懐中日記 總皮	同	.三五
同 總布	同	.二〇
同 特	同	.一五
同 上	同	.一〇
同 並	同	.〇八
同 大	同	.二〇
實用ポケット日記 總皮	同	.五五
同 總布	同	.三〇

京城本町[illegible]　大阪屋號書店

▲後場愈不勢 [illegible]

▲納寄せ手 [illegible]

十三日の一月限 [illegible]

本日より大嘗祭を行はせらるゝ 悠紀殿(左) 主基殿(右)
大禮使謹寫團拜寫

大嘗祭前一日 鎮魂の御儀式
聖壽の萬々歳ならんことを祈り奉る

大嘗祭の前一日即ち十三日を以て御所内の小御所に於て鎮魂の御式行はせられたり、此の御式は年々新嘗祭の前日を以て宮中綾綺殿に行はれ兩陛下並に東宮殿下の御壽命の長久ならんことを祈り奉る御式なれども登極令に依り大嘗祭前一日を以て行はれし也。

□九柱神を齋ぐ 此の日午後四時、神座を設け、同五時下手水の儀ありて祓を行ひ、やがて神降の儀あり、高皇産靈神、神皇産靈神、魂留産靈神、生産靈神、足産靈神、大宮賣神、事代主神、御膳神、並に大直日神を齋ぎまつる、雅樂師安知女の曲を奏して、太刀、弓、箭、鈴、佐奈伎、絁、木綿、麻の八代物を供し、次に神饌を供し、岩倉掌典長祝詞をせり

□御衣と御玉緒 かくて先づ天皇陛下の御衣と御玉緒とを式場に捧げ參り、掌典は絲結の作法と御振動の作法あり、一方にては內掌典宇氣槽に昇りて鉾を執り鉾の柄にて宇氣槽を衝くの儀あり、是れ天石窟の前にて鈿女命が宇氣槽を踏みとゞろかして歌舞せられたるより起ると申す、次で皇后陛下皇太子殿下の御衣、御玉緒に同じ作法あり、最後に大直歌をうたひ倭舞を奏して、芽出度鎮魂の御式を終らせ給へり(京都特電)

◎祭主宮御發向 陛下には十九日伊勢神宮御親謁の爲め同地に行幸につき久邇宮祭主殿下は十八日京都發同地に向はせらるゝ由なり(京都特派員特電)

◎賢所御代拜 十四日大嘗祭當日賢所大供饌の儀に陛下御代拜は松平侍從 皇后宮御代拜は吉見掌侍に仰せ付られたり(京都特電)

◎皇太子還啓 十二日京都御出發靜岡御用邸に御一泊あらせられたる東宮殿下には入江侍從長以下各供奉員を隨へさせられ十三日午後一時十分東京驛御著車 皇后陛下御使東久世主事兩皇子殿下三好傅育官長を始め陸海軍人其他多數の御出迎へを受けさせられ御機嫌麗しく御順路を高輪御所に御歸還あらせられたり(東京特電)

支那帝政問題
▲內亂豫防と總統令 內心擾亂を恐れ居る爲め乎

十二日附にて長文の總統令發せられたるが概要は革命黨內地に入り擾亂せんと謀りつゝあり政府は今や財政順調に向ひ軍隊整然各署長官及び軍人は亂黨に迷はさるゝ事なきも青年血氣の徒は或は誘惑さるゝを保し難し各將軍巡按使は亂黨を取締ると同時に人民が迷されざる樣注意すべしと宣布す此の命令に依り支那は口に治安を保障するも內心擾亂を恐れ居るものならん(北京特電)

◎地方功勞者受章 二日特別の思召を以て地方功勞者に藍綬章を授與せられたり(東京特電)

群馬縣	熊谷直方
東京市	山室軍平
同	留岡幸助
兵庫縣	右原旅吉
兵庫縣	大西玉之助
德島縣	三木彦一
福岡縣	寺田源三郎
滋賀縣	吉川治郎左衛門
愛知縣	荒谷清顯
熊本市	高岡源俊

◎俘虜へ大赦恩赦 日本に收容中の獨墺俘虜中懲罰を受けたるもの二百十七名刑罰を受けたるもの二十七名あり特に十日現在の者は懲罰三十名刑罰三名にして之等に對し大赦恩赦恩典あるべき筈なり(東京特電)

◎授爵反對の聲 宮內省中には某實業家の人格を楯に授爵反對の聲高きものあり(京都特電)

▲承認二說 支那通牒に對しては承認不承認の二說政府部內にあり閣議後四國協議の上決すべしと(京都特電)

▲支那治安 三區に分たん 支那を三區に分ち此れに專任將軍を置きて治安維持に當らしむべしと(北京特電)

北京警戒嚴 護衛兵皆武裝 十一日以來北京市內の警戒更に嚴重となり各道路守備兵は非常に增加し夜間十二時以後は人通り稀なり各部總長警視警察署長等の護衛兵は出入の際武裝しをれるが之等は皆上海の鄭汝成暗殺事件の影響なりと思惟せらる(北京特電)

▲費用準備 上海にては名を紙幣回收に藉り帝政費を得んとしつゝあり(北京特電)

◎獨國潜航艇か 八日紐育に向けメッシナを發し九日チュニス沖にて墺國旗を揭げし潜航艇に撃沈されたるが右は獨逸の潜航艇なりとの說あり米獨新活動と見るべし(倫敦電報)

◎在京各派平靜 衆議院に於ける各派代議士等が京都に於て議會に對する諸般の協議に關し暗中飛躍盛んに行はるべく豫期せられしが各派代議士共相戒め何れも謹愼の態度を持し至つて平靜なり(京都特電)

◎岡陸相辭職說 岡陸相は乃木問題より辭意固く多分議會開會前に辭職すべしと(京都特電)

◎日置公使歸任 日置駐支公使は夫人並に女婿樋田外交官補夫妻を同伴十三日午前十時神戶出帆の淡路丸にて歸任せり(東京特電)

煙草取引順潮 輸出二十五萬圓

▲輸出入對較 總督府の調査に係る九月中の製造煙草輸移出入狀況を見るに輸出に在りては口付紙卷煙草二百四十九萬六千本價額四千九百三十圓、兩切紙卷煙草一千五萬千本一萬六千六百八圓、價格合計二萬一千五百四十圓にして輸移入高は口付紙卷煙草十八萬本三百七十七圓、兩切紙卷煙草百三萬八千本八千四百十六圓、葉卷煙草五萬一千本七百八十三圓、刻煙草九十七貫目九百四十一圓、價格合計一萬五百十八圓なるを以て差引き一萬一千廿二圓の出超を示せり

▲輸出入累計 而して一月以降同月までの累計は輸出に於ては口付煙草三萬三千八百三十四圓、兩切煙草二十一萬五千五百九十六圓、葉卷煙草二百圓、刻煙草二千六百六十四圓、合計二十五萬一千九百九十六圓にして輸入は口付煙草三千七百三十一圓、兩切煙草七萬三千五百六十圓、葉卷煙草一萬一千二百九十三圓、刻煙草八千七百五十八圓、合計九萬七千三百四十三圓なるを以て結局十五萬四千六百五十三圓の出超を見たり

▲輸移出者別 今當月中に於ける輸移出價格を輸移出者別に示せば東亞煙草株式會社一萬十八圓、廣江七千五百十七圓、朝鮮煙草株式會社千二百五十圓、大邱製品百二十圓、釜山製品二千三百九十六圓其他二百三十九圓なりとす尚ほ九月分並に一月以降の累計を主要輸出地別に示せば左の如し

輸出地	九月分	一月以降累計
大連	六、五一五圓	五九、九九二圓
青島	三、五七八	一四〇、〇九九
撫順	……	三、八八九
奉天	二五〇	六四〇
長春	二四〇	八〇四
間島	二、五七五	一五、二九九
天津	……	三八五
香港上海	……	四八六
南洋	……	七、七五〇
安東縣	八、二七五	九、六二五

京城雜筆
山縣生

▲今日は一つ二つ小さな不平を言はして貰ひたい、何時でも感謝と滿足とを言ひ續けて居るから、僕を濟度し難き樂天家と見做して居る人もあるやうだ、僕だつて同じ人間だ、螻蛄もあれば不平もある、唯僕は言つて益なき不平を言ふことを謹んで居るだけだ

▲不平の第一號は京城協贊會の醵金についてゞある、協贊會が共進會の成功に多大の貢獻をしたことは僕も充分に認めて、役員諸氏に對し大に感謝して居るのである、唯僕の解し得ざるは同會より僕の寄附金に對し昨日になつて漸く入場券や記章を贈呈された事である

▲僕は協贊會へ貧乏なる僕相當の金を寄附することを申込んだ、會規に據れば寄附金は數回に分ちて納めてもよいといふことであつた、そこで小金ながら一時に出すのは苦しいから九、十の月末に分納することにしたところが此寄附に對し正當に與へらるべき記章入場券等は即時送られずして、共進會が濟んでから十二日も後の昨日に至りて漸く送られた

▲僕はあれが欲しい譯ではない、貰はなくとも相當の寄附をしたであらう、唯寄附金を全納しなかつた爲めに期日中に之を贈られなかつたのは人を信用せざるに當りて無禮といはねばならぬ、況して期日後今更用の無いものを贈るに至つては人を馬鹿にして居る

▲不平第二號は藝術座の『剃刀』劇に對してゞある、僕は十二日の夜壽座へ見物に行つたのであるが、松井須磨子孃其他座員一同の伎藝の巧なるには感服した、然し『剃刀』は何といふ馬鹿な劇であらう、あの劇に何處に美があるか、悲劇でもなければ喜劇でもない、あれば醜劇である、怪劇である、あれはたしか社會劇と銘が打つてある社會の實相を描寫したる劇といふ意味であらう、然し寫眞が美術でないやうに、社會を有りの儘に寫し出す藝術は眞の藝術でない

▲あの劇を見て興味を感じた人があるか、僕は唯此やうな病的思想が一部の所謂文士なるものゝ中に存在して居ることを認めて興味を感じた他に、劇それ自身よりは不快の感の他何等の印象を受けなかつた、あのやうな馬鹿なしいものを演せらるゝ藝術座諸君の心事が分らぬ

▲そうかと思ふと諸君は『復活』の如き理想を主としたる劇を演じて居らるゝ諸君の趣旨は何方にあるか分りかねる、醜惡なる社會の暗黑面を現はすことが藝術の目的と考へて居らるゝのであるか、或は美化理想化したる社會を示すのが諸君の趣旨か伺ひたい

▲思ふに兩方ともと答へらるゝであらう、然らば音樂會に於ても雜音と音樂とを共に出して可からうか、美術展覽會に寫眞と繪畫とを併せて陳列して可からうか

●本日總督府公文添付

次蘇峯先生金剛山口占韻 並序

金剛之名、余耳之熟矣、而未曾遊、窃謂八道山河、骨立瀏稿、江原特爲甚、半島詞人、連篇累牘、强半誇張、蓋不足道耳、是歲秋晩、先生來遊、躋攀連日、記遊萬言、日傳新紙、出愈奇、余始信名不虛得、遊意頓動、而節已晩矣、先生還京後、有口占三首、金公雲養和之、余尤有擅癢之感、乃賡瓊韻遙奉寄呈、乙卯十一月初三 素堂 淺見倫

巖石磊砢水激揚、萬山皆骨露鋒鋩、惟憑詞客添心匠、雲袖霞裳燦作章。

衆香依繖續似方壺、桂樹霞生迎有無、歸日青山秋半好、開來應展臥遊圖。

秋染楓山赤映黃、神鑄鬼斫作金剛、蓀霧笋寫人間遍、錦繡文章賦詞場。

學鷗 松田甲

羨輪摩戛彩旗揚、萬二千峰森戟鋩、有客雲霞拖曳裏、吸嘘神氣吐奎章。

掛嶽凌滄筆興壺、人間萬慮等虛無、臨如此我遊未、何日躋攀入地圖。

峰頂振衣返照黃、穿雲吟杖是金剛、楓開錦幕松鳴瑟、蹴下群仙醞舞場。

東京發別電

▲三國の融通 英佛露三國は [illegible]

…の軍器工場に大火災ありたり

▲內債募集の言明 政府は [illegible] 爲め內債の募集 [illegible]

▲大觀艦式 十二月四日東京灣に於て行はせらるゝ大觀艦式には大 [illegible]

▲石原次官歸京 石原次官は十五日歸京す可し

[illegible] 九十一個一萬七千百十噸五十三鐵道運帶輸移入三千四百廿八個八百零一 [illegible] 百五十二噸〇八陸路運送一萬四百〇七箇一千三百〇八噸八十四海路運送 [illegible] 之れを前年同月の一千十四萬零五百七十二箇四十三萬八百五十九噸二十五に比するに箇數に稍減じ噸數に稍增 [illegible]

[illegible] く會費は改元共金五十錢とて一等より五等迄の賞品を出すべしと

[illegible] にて此の催は貨物數拔あり

▼御成座 十四日の [illegible] 六幕一番目 [illegible]

移轉御披露
弊店儀從來明治町二丁目に營業罷在候處今般左記の處に移轉仕候間何卒不相變倍舊の御引立伏て奉懇願候 敬白
京城黃金町三丁目三百四拾番地
巴商行營業所 電話一四二五番
本店及鑄物工場 龍山漢江通八番地 電話四二四番

簿記募集
通學生 寄宿生 校外生
當時大典記念優待募集
東京芝區櫻川町十一番地
私立 認可 日本簿記專修學校

移轉御披露
謹啓陳者今般左記場所へ改築中の處今般落成と同時に移轉仕り從前の通り營業致候間茲に御披露申上候 敬具
十月三十日
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番)
時計商 喜多金光堂
振替口座七八二番

歐洲戰爭實記
四十三號(十一月五日發行 定價廿錢 郵稅二錢)
▲獨逸民族と見暴とは獨逸民族の特徴也
▲歐洲交戰五國營見
▲巴爾幹の向背決定と戰局の將來
▲全歐大戰報(最近大戰記錄)
▲歐洲戰爭の支那に及ぼせる影響
▲戰線巡視中の伊國王
▲開戰の責任に對する英外相の主張
白佛戰局圖
▲獨逸潜航艇と其活動
▲セルヴィア及びモンテネグロ人
▲巴爾幹獨逸を一巡して
戰捷に對する獨逸確信
▲海に出て初めて知る大英國の威力
▲實戰と飛行機の價値
▲英國の間牒となつて裏切つた猶太人
(前金稅共八册 一圓六十一錢) 東京本町 博文館

內科 小兒科 入院隨意
京城日出小學校前
多々見醫院
院主 醫學得業士 多々見五郎
電話九四〇番

比較は最良の選擇法なり
サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替京城五七番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸付、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 振替貯金口座 京城三三三番 電話 一三三一、一三三二、一二六〇、一二六一
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

▲スエズ運河…はスエズ運河を封鎖せり
▲米國軍器工場火災 米國…可しと
…功勞者の發表期…爵の御沙汰は御大典後に發表せらるべし
…兩殿下には來る二十一日京都へ向はせらる
…を聞くに輸入六萬七千二百六個九千九百五十七噸九十二移入九萬四千零…移出一千二百八十四箇百二十噸九十一噸零六計二十七萬九千三百九十八箇…七朝鮮沿岸より移入二千六百○一箇三萬八千八百五十一噸七十二にして
▲…大會 本町三丁目…部にては十三日より十六日迄四日間…倶樂部に於て…

●榮ある高齢者

▲齒が生へたら何時迄生きるでせう

『君が代を壽ぎ祝ふ菊の宴』

黃金町二丁目百六十八番地の憲兵隊官舍に兒玉はる(八七)といふお媼さんを訪ねると『ハイ、ハイ誠に有難い事で――あなたも一つお戴きなされませ』と娘さんと言つても今年六十四になるといふ老刀自が座敷の中央に恭しく飾つた臺の上から朱塗の底に『養老』の金文字の入つた天杯を取出して來て冷酒を酌いでくれる、何の事はなしにわけもなく有難くなつて頗る恐縮しながら謹んで頂戴に及んでさて更めてはる子刀自にお祝ひ申上げるとつるつると綺麗な頭を幾度も下げて大變恐悅の態である『お杯を戴いて詠みましたもので御坐ります』と取り出した半切を見ると『君が代を壽ぎ祝ふ菊の宴 八十七歳兒玉はる子』と書てあるお目出度『若い時には患んなに長く生きようとは思ひませんでしたがお蔭で――』と言ふ傍から更に老夫人が引取つて『四年程前に朝鮮に參りましたが氣候に合つたせいか患んなに丈夫です、それに此の頃どういふものか齒が三本ばかり生へて來まして固いものをぱりぱり戴くので今から齒が生へては何時まで生きるのだらうなど、言つて居ります』國は福井縣の福井市です』といふ孫の研輔氏といふのが總監部に出て若いお嫁さんと四人暮し羨ましい程目出度い家庭である

▲食物は若い者と變りが無い

お寺詣りが仕事のやう 南山町三丁目三番地旅館天眞樓のお女將さんの阿母さんに當る村谷みつ(八〇)女はお寺詣りに行つて留守ですがと娘のお女將さんが話すを同家に訪ねると『大正元年に來て今日までお蔭で達者です、冬の寒い時でも溫突などに這入つた事はなく若い者と同じ樣に普通の座敷に居ります、齒は早くから無い樣ですが食物は若い者と少しも變らず章魚などを平氣で戴くのです。永樂町の西本願寺樣に參るのが殆んど仕事の樣になつて居りますが決して俥には乘つた事が無く歩いて行つては歩いて歸ります、此の年になつて不思議に腰が曲つてゐないので杖を用ひるのを嫌ひますが年寄に杖が無くては危ないからと成るべく持たして遣る樣にしますが本人は些しも介意はないのです、記憶の好い事も驚くべきばかりで却つて私共より確かな位です、臺所の忙がしい時などは氣輕に料理場に出て手傳つてくれます』とは珍らしく丈夫なお媼さんもあるものである

▲自分で著物を仕立てる

有難いので唯もう夢中 南山町三丁目六番地彌生旅館のお媼さんのきさ女(八三)に就いて金澤氏夫婦が交る交るに語る『母は十年程前に朝鮮に參りました、此たび天杯を戴くと定まつてからは宛で子供の樣に喜んでお杯が下ります前の日などは自分で白襟をかけたり最う夢中になつて居りました、齒もまだ丈夫でして眼鏡もかけず自分の著物を仕立てるのは勿論私共の物でも頼めば暇にあかして縫うてくれます程ですが又足の達者な事は素敵なもので共進會には歩いて四遍も行つて見ましたし何處へ行くにも獨りでどんどん歩いて行きます、お酒も燗德一本位は飲みます、平素は暇さへあれば針仕事をして居り升

●京城神社大嘗祭執行

京城神社にては十四日午前十時より莊嚴なる大嘗祭を執行し政務總監の參拜李王李太王殿下の代拜ある可し

●餘興競べ 市中歡樂の巷と化せん

京城市內にては曠古の御大典を奉祝する爲め各町共種々意匠を凝らし斬新なる催物あることは既報の通りなるが尚其他の分に就き聞く所に依れば

▲南山町二丁目にては野村孝藏氏等發起となり同町井上宜文氏宅裏に舞臺をしつらへ十五、十六、十七日の三日間二輪加其他種々の催しをなすべしと

▲新町遊廓 全部にては餘興場に天の岩戶開きの背景を拵へ其他種々の裝飾を施すべしと

▲中券番にては例の藝者連が七十人許り仕丁姿に扮し一見作り物と屋臺を曳き出し沛の日の出に擬したる行列の前後には各十人宛の一隊を加へ大鼓鉦笛三味線で賑々しく十五日は京城神社から新町遊廓を十六日には京城日報社附近を十七日には景福宮方面を每日練り廻るといふ計畫なり

▲第一種料理屋組合にては十五日三十四五名の連中が各手に神酒德利を携へ午前九時より午後五時迄行列の筈

▲南大門通一二三四の各丁は聯合し各町名を太文字にて表したる標旗一旒宛を先頭にして各町十五人宛を以て南大門通りより鍾路通りを經て景福宮內の式場へ繰込む豫定なり

▲明治町にては十五日同町の空地に於て自轉車競爭會を開催の筈瀧川喜多金光堂都築の諸氏等奔走盡力中にて定て見物者多かるべく

▲京城券番にては十六日大屋臺を引き出し五十人の行列をなす計畫中

▲其他十五日 夜は京城官公私立各學校六十三校約八千人の大提灯行列十七日には市內樞要なる箇所にて御酒の接待あるべく玆三日間の京城市內は花と飾られ不夜城を呈し奉祝の餘興等にて全く歡樂の巷と化すべし

●仁川の旗行列

仁川各校に於て十六日午後二時より奉祝旗行列を行ふ筈なりしが一日繰り上げ十五日午後二時より行ふこととなりたり

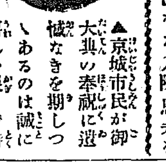
●損害は僅かに九千圓 原因は病室修繕丁夫の過失

夕刊所報の如く府內總督府醫院の火災は十三日午前十時二十五分發火同十一時鎮火したるが罹災家屋は東三病室の

▲五十五坪にて 燒け跡纔かに四方の煉瓦壁を殘すのみにて他は皆燒失し居れり失火の原因は五號室床下なるスチーム管の修理中總督府營繕課直營の人夫が過て蠟燭の灯を附近のペンキ罐に移したるものなるが幸ひ畫間のとて直ちに消し止め猶ほ藥局其他の職員は各自分擔の室內を立退く可く整然として部署に就き同室の入院患者も直ちに東五、東二の兩室に移し全部の損害額約九千圓にて了りたるは

▲不幸中の幸ひ なりき右に付き同醫院室谷博士は語りて曰く『這回の火災は病室修繕工夫の過失に原因するとは言ひながら畏くも御大典中然も芳賀院長閣下の留守中に於て斯る不幸に遇ひたるは洵に恐縮の外なし、殊に大切なる入院患者を收容せる事とて一時にても多數の人に心配を相懸けしは實に申譯無き次第である、幸ひ晝間の事とて入院

▲患者も無事に 消防夫にも職員にも一人の怪我人さへ出さざりしは何よりの事なりと悅び居る次第なり、火災に對し御配慮賜りし方には厚く御禮申上ぐると共に損害は意外にも輕微なりしを以て御安心を乞ふ』と因に同室に臥りには森安博士令息入院し居たるも無事避難せり



▲京城市民が御大典の奉祝に遺憾なきを期しつゝあるのは誠に嬉しい限りで特に感心なのは場末の賤ケ伏屋の溫突家屋にも戶毎に萬歲旛を揭げてあることである▲左樣かと思へば比較的堂々たる構のところで萬歲旛を未だ奉揭して居ないのがあるのは妙な對照だ揭げる可きものは早く揭げたらよからう▲佐久良座に居た藝術座劇は十二日から壽座に移つたので京城の觀客は大悅びだ壽座では十一日は徹夜で見物席を改造し土間の腰掛を取り拂つて板を張り疊を敷いた斯樣にしてまで此芝居を持つて來なければならぬかと思ふと滿足な劇場一つない京城が情なくなる良い劇場の出來上らないうちは先づ先づ當分客足のつく芝居をひくことは斷念するに限るかネ▲千代本の女將が十二日の夜須磨子に盛り花を贈つた糸八の一座と共に滿鮮を巡業し廻つた昔を思ひ浮べたら女將も今昔の感とやらに堪へまい▲須磨子は十三日の夜からサロメで一座總出の賑かな幕を見せたが何しろ皆膚素肌で出るので臺灣では熱さが凌げて却てよかつたけれど京城の夜寒には皆閉口してゐる、その代り復活の多衣裳に臺灣で苦しめられたとは妙なものだ

●日進の戰鬪動作

十六日まで觀覽を許さる

仁川碇泊軍艦日進に於ては十三日午前九時より水雷發射、射擊動作及び其他の戰鬪動作を行ひ仁川各學校生徒は之が觀覽に赴きたり尚ほ當日は久水府尹外高等官有志數名同艦の午餐會に招待されたるが柔道、擊劍其他の餘興ありて平時見得ざる戰鬪動作及び海上生活の一端を伺ふを得たり因に同艦は十七日出港の筈にて十六日迄は一般觀覽を許す由

秋の運動界

五 野球界總評

■鐵道對五星親睦

當日最も期待せられたるマツチにして五星としては今春の會稽戰であるから最も自信を要するマツチであつた…開始五星先攻、好漢村野頭四球に出で巧みに盜壘して投手をじらしめ、まづ第一點を得しところ有賀にお屋の重鎭である、鐵道第一回に一點を回復、三回鐵道の守備列に遊擊にミスの連發、加ふるに鐵道投手二個の四球を出して滿壘となり好機大に到り一擧三點を得、鐵道之れに反し不振甚しく此の時の得點五星六對鐵道…しく漸次腕を表はし九回に至る迄走者を出さしめず五星軍をして不戰勝の姿を化せしめたるは偶に依つて鐵道投手の手腕に敬服する處がある斯くて鐵道は漸次攻擊の猛を表はし松島山本門見岩田等の二壘打羽宮のバンドあり四回に三點五回に一點を挽回六對六となり八回に鐵道の攻擊頗る極め五星の陣漸次亂れ鐵道は一擧五點を得て大勢決し遂に十一對六にて五星軍は再び敗双に歸した。

○短評 今兩軍に就て短評せんに五星は投手甚だ振はざるに反し守備堅にして殊に外野手の防禦は賞讃に値す可く鐵道は守備に缺陷多きは奈何なる爲めにや、遊擊三壘手抔は言外なり外野猪俣の當日の活動は特筆す可く、鐵道軍は守備に於て五星に劣り、攻擊に於て勝る。因みに當日兩軍の成績を見るに

	鐵道軍	五星軍
△過失	一三	七
△安打	八	二
△四死球	(柳)一	(林)五
△三振	(柳)七	(林)一四
△打擊數	四	三七

過失の一三對七は鐵道の守備の拙を語り、安打八對二は鐵道の攻擊勝れるを表し三振七對一四は鐵道投手の優秀を表すものである。之れを要するに本年の野球戰に於ける霸者は鐵道軍にして、五星は未だその敵に非らず。記者は各チームの猛烈なる練習を要望し、來春に於ける大決戰を刮目して俟つものである。

●露西亞領事館員の壽座見物 須磨子のサロメ 定連見物が多い

藝術座一行が壽座に開演して二日目の十三日夜は中村吉藏氏作の嘲笑とオスカワイルドのサロメを上演するといふのが人氣に投じて開場前から續々と詰めかける、活動常設館として妙な座席になつてゐたのが今度改造されて全く劇場らしくなつた第一番目は嘲笑で幕が開く觀客の內には龍山以來每夜缺かさず出かけてゆく佐藤編輯官の顏が見える外に金谷府尹、村瀨副參事、菱田通譯官等が夫人携帶で各特等席に熱心に見物とある、一體にかゝる劇に理解を有つた或は容易に理解し得る智識階級の人達が多くを占めてゐたのは別に異とするに足らなかつたが殊に眼を惹いたのは露西亞領事館員の一行が或る椅子の一部を占領してゐた事であつた、終りの幕のサロメこそ遠く異國に在つていろいろの感興を起しながら觀んと欲する主なるものであらうか、嘲笑の主人公の幸介が淺薄にして不徹底なる道德家たる養父に對して一言一句銳い皮肉を浴びせかける虛僞多き現代に於ける日本の上流の家庭の缺陷を犀利な柄物で抉ぐる樣な一幕が終る頃にはぎつしり詰つた觀衆の面には色々の意味に於ける微笑が漂つてゐた、嘲笑が終ると本社から藝術座の成功を祝して須磨子孃に贈つた美麗なる花環の披露があつて大喝采であつた

■藝術座の『サロメ』 サロメに扮せる松井須磨子 ヨカナアンに扮せる澤田正二郎

本社より松井須磨子孃に贈れる花輪

金牌受領 本椿香油 髮を黑く長くつやを出しさらさらとして髮のふけを防ぐ妙

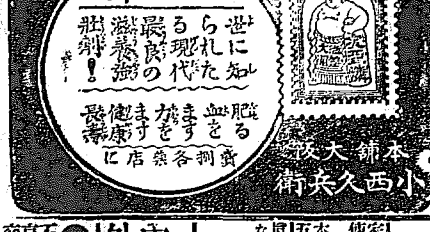
●油斷大敵 風邪は萬病の本

補溫劑にして健胃(便通をよくす)を兼ねたる飲みよく偉効ある風邪血の道の良藥守妙を措いて他に藥を求むるはそは餘に愚なり 輕微なる引風を等閑に附するが爲め遂に不治の大患に陷るは古來其例尠しとせず、我が妙振り出しは即ち此の四季の引風及びたんせきに最も妙にして殊に婦人血の道、頭痛めまひ氣ふさぎ等の症に用ひて驚くべき奇効あり御購求の際は守田の妙振り出し即ち守妙と必ず御指名を乞ふ

注意 風邪溫藥として妙振出しの名に因める者… [illegible] …是れ妙振出しの一大特長なり

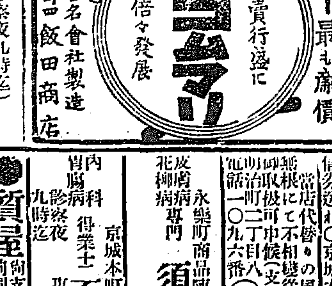
定價 試用 一貼金五錢 二貼金拾錢 / 六貼入 金廿五錢 / 十三貼入 金五拾錢 / 二十八貼入 金壹圓 / 德用包 六十貼入 金貳圓

東京上野池之端仲町二十七號地 本舗 寶丹 守田治兵衛 振替東京二九八五番 (全國有名藥店にて販賣す)



本舖大阪 小西久兵衛

皮膚徽毒科 入院隨意(診察夜九時迄) 皮膚病 徽毒病 麻病 膀胱病 生殖器 機能障礙 京城明治町二丁目(旭町入口) 日曜祭日午後二時迄 佐藤醫院 (電話一一七三番)



二大特長 品質卓絕 最も廉價 三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 大阪唐物町四 飯田商店

公告 京畿道金浦郡陽村面所在樓山里草坪中收穫不定畓面積約拾五萬坪ヲ本年分生產物ヲ公賣ス入札希望者ハ十一月十二日以後ノ官報ヲ見ラルヘシ 大正四年十一月十日 金浦郡

廣島名産 山まゆ織 冬物品揃ひ一疋小幅見本進呈す 廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪三〇六九

胃弱の人

用心深き胃弱家は淺川博士の言はるゝ通り飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ……善は急げ

胃活定價 金拾錢ヨリ壹圓迄 / 胃活錠定價 金廿錢ヨリ壹圓迄

本舖 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町

京日案內

●普通 一回金三十錢(…)

●會計係募集 男女に係らず緊腕なる外交員二三名入用至急 櫻井町二の一九七 京城雜誌講演會 924

●門生入用 希望者本人來談あれ 當地に身元保證人を要す 京城黃金町一丁目 岩田寫眞館 922

●貸家 万千閣右石段を上りて右折下り水道付平家三間家賃八圓 黃金町電話二三三六番 寫眞館 921

●被雇度 土木建築測量設計監督請負業に經驗有る希望者乞御照會 釜山停車場前岡本旅館方△橋本惠八 64

●御旅館 一泊金五十錢より ●御下宿 一箇月金九圓より 京城本町三丁目 電話二四九三番 大和館 9,5

●不用品買入 古著古道具高く買ひます 古材木板安く賣ます ○太平通二丁目八九 原田古物店 912

●讓店 市內目抜の場所今回歸國に付至急讓る希望者は左記へ 本町一丁目 ○[illegible]井堂 913

●少き營業中の工場主人至急賣度 但千圓以上要す 電二七一二 太平堂 915

▲乳母至急入用 京城旭町一丁目 小森材木店 864

●貸家 日本建溫突付三室至極閑靜官吏向 漢陽公園南 管理者 倭城山印刷局先畑中 827

●番外 一回金…

◎注文取 年末用カレンダー新案印刷品市內及地方 京城明治町一丁目五三番地 紙製品商 清寬支店 923

●女事務員入用 高小卒以上の女又は高女卒 月給七圓以上十五圓迄 午後四時履歷書携御來談 京城本町二 …

○南質店 當店代替りの風評有之候へ共根にて不相變從前通り親切丁寧に取扱可申候(支那領事館前) 明治町二丁目八 電話一〇九六番 873

須古醫院 皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 電話二一〇二番 802

內科 胃腸病 得業士 石川淳夫 診察 夜九時迄 京城本町一丁目 專用電話二七三九番 91

●質屋 田村質店 向支那領事館通り 土藏新築確實に御取扱可致候 黃金町二丁目長橋通入 電話二九一六番 902

●●賀川新案堅牢椅子並に防水布 監獄製火鉢格安賣出し 是非共一度御來店の程願上候 洋家具專業 黃金町二長橋通角 松浦京城出張所 電話二三五九番 831

恩給年金類立替 京城永樂町一丁目四十四番地 商品陳列館前 江州屋 電話八〇三番 858

家傳 りん病 三日藥 婦人病にも特効 到る所に代理店あり 本町三丁目五十三番地 東京救濟院京城出張所 869

元山牛肉 特色 精肉の親玉 開店披露の爲め當分大安賣出仕候 京城本町二丁目 元山八浪精肉店出張所 870

內科 外科 產婦人科 花柳病 上野醫院 ○京城黃金町四丁目一〇番地 電話二九三四番 881

●樂器 オルガン バヨリン 琴 不用の御方は御持參あれ買取升 京城本町四 交番向小路 杉野樂器店 887

千生瓢（四）

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（八）

海津を出ると其まゝ、荒茅山の絶巓に身を沒した忠左衛門は、人跡絶えた深谷を潛り渉つて、偏へに敵の視界を脱れることを心懸け、崖を攀ぢ、岨を傳ひ、路なき森林を忍び〳〵て、二日を山中に明し暮し、三日目の朝に至つて、辛うじて佐久間の陣に歸參し得たのであつた。

總大將の出馬によつて、味方の陣形も大に整備した。先鋒の佐久間盛政、は行市山を取り切つて、敵の陣所を一眸に斂め、拜郷五左衛門は別所山に、原氏次は山寺山に、淺見但馬守は池原山に、金森五郎八入道は中谷山に、不破元治は大谷山に、德山五兵衛は橡谷山に堅陣を構へ、總大將柴田勝家は、中尾山に本陣を置いて、敵寄せ來らば山谷に誘き入れ引包んで鏖殺しにすべき方略が整つてゐる。

忠左衛門は幾箇所かの誰何に遭ふて、關門から關門に護送されながら本陣に送り込まれて、盛政の面前に引き据ゑられた。

『殿、忠左ゐざります、宇野忠左衛門ゐざります』

『何、忠左とや』

盛政は其面をつく〳〵と目成つてゐたが、思はず小膝を丁と搯つて、

『おゝ忠左ぢや。正しく宇野ぢや。疾う縛繩を釋かうツ』と、躍り上つて歎んだ。

忠左衛門は繩縛を解かれると、妾も更めずに盛政が居室に通つた。

『七日の御約束、意外に後れまいたで、定めて敵の刄に殪れたとばし思召されつらう』

『よしなき一職を申し付け、天晴忠義の家來一人、喪つた事と存じて、深く後悔致いたわ』

『不束な忠左めの爲に、御深慮相かけまいて、只恐縮の外ゐざりませぬ。去りながら敵地の要害嚴しく、一兩日にては陣地へも入り兼く、存じながら日を費しておざりまする』

『さもあらう、面窶れのやうを見ても、心勞の程察し入る』

『御意、恐れ入りまする』と、忠左衛門は感涙の面を伏せた。

『殿、首尾よく長濱へ渡りまいた』

『出かいた。長濱まで參つたか』

『はツ。山路將監、舊恩の相忘れず、心ならずも軍旅に從ふ事、憖に聞き出いておざりまする』

『何といふ、將監敵とはならぬか』

『如何してそれ聞いた』盛政は我知らず、する〳〵と膝を前ませた。

『彼が舍弟多九郎に面會致いて、聞き糺し申しておざりまする』

忠左衛門は斯う言つて前後を顧みた、而てつと身を進ませて

『御承知あらせまするか。筑前守殿二十三日に賤ケ嶽の陣所を發し、美濃へ進入致されておざりまする』

『やツ、筑前去つたか』

盛政は思はず座を起ち上つた。力を踏んで窓際に行き、敵陣をうち眺めたが、一兵動かず、只旗指物の行春の風に靡いて、散り行く花を招ぐばかりであつた。

『二十三日とか』

『聢と左樣承知仕りまする』

『當所より木本、小谷、春照、藤川、關ケ原、垂井を通つて、大垣城に入るとすれば、道の程十五里半、二日路を費して、二十四日の夕刻には著かう。こゝで軍議を凝らして、岐阜城に攻めかゝるのは、二十七日よりは晩くはあるまい。夫までに瀧川滝洲を落さば知らず、筑前が大軍を以て岐阜を短兵急に攻むる時、幾日の籠城續くであらうか。岐阜城陷れば、瀧川は一支へも支へ得まい。唇破れて齒寒しとは此事。忠左、此處が分別所ぢやな』

斯う言つてどつかりと坐したまゝ、腕組をして思案に沈んだ。忠左衛門も俱に考へてゐたが

『殿、中入の戰に砦一箇所切り落して、筑前殿を誘き寄せる外おざりますまい』

『して其砦は何處が屈竟?』

『山路を呼んでお聞ひなされ』

『やツ』

盛政は眼を光らして忠左衛門をきつと觀た。

寫眞 親切で安くて上手な 京城寫眞館 本館南大門通 分館永樂町

新刊と批評

▲放言錄（浪六著） 例の村上浪六の雜筆である社會、時事、近代思潮の萬般に亘つて氏獨特の意見を簡切れのいゝ文章で書かれたもの讀んでゐてその肉の內にさ達眼さには敬服させられる節が少くない（定價壹圓二拾錢東京日本橋區本石町三丁目至誠堂）

▲伊藤仁齋修養訓（足立栗園編述） 本書は近世の初に於て文學德行を以て高名なる伊藤仁齋及び其子東涯の學領識見逸話等を輯錄して其修養上の見地を明にせしものなり苟も人の學ぶべく師とすべきも多し卷末には東涯餘話を附してあれば世の修養家の爲には絶好の書なり（東京神田區美土代町三の一富山文房定價六十錢）

▲道德と經濟（中島力造著） 著者が數年間各所の講演に於て演じたるもの及雜誌等に掲載せしものを集め訂正增補したるものなるが紳士諸君の一讀を要する好著なり（東京神田區美土代町三ノ一富山文房 定價六十錢）

▲北方の流星王（箕作元八著） 西洋史新說の第八冊にして彼の第十八世紀の初期に歐洲の天地を震撼せし瑞典王チャールス第十二世と露のペートル大帝との大戰役は頗る重大戰役なりしが同書は北方の流星王チャールス十二世の活動を著者獨得の筆を以て描出せしものにて近來の著たり殊に現下歐洲大戰の戰地たる地方は亦其時チャールス十二世の大活動の地たるを思へば一讀更らに肉躍るの感あり（東京日本橋區本町博文館八十五錢）

痳病梅毒

◎痳病療法に付て

▲醫術の進步と俱に痳疾治療法は諸大家競ふて研究し內服藥は勿論洗滌法注射法等種々立案ありと雖も未だ完全なる結果を見ず今猶醫學者間研究中なり

然るに本舖發賣の治痳藥は昨年二月發行以來今日迄數千の患者に付實驗する所實に百發百中ごもの謂ふ可き成績を現はし且つ專用する醫師の數次第に增加するに至れり

殊に本劑は醫藥界に於て痳疾藥として當名高き「ボロヴエルタチン」「Bolovaltin」並に「サンタール油」「Oleum santali」を配劑調製したる當舖秘傳藥にして [illegible]

治痳藥 一週分カプセル五十個入 金一圓二十錢 二週分同百個入 金二圓二十錢

治痳球 一週分カプセル五十個入 金六十錢 二週分同百個入 金一圓十錢

◎梅毒秘密療法に付て

▲梅毒療法 種類を擧ぐれば

（一）六〇六號注射療法（二）水銀劑注射法（三）蒸療法（四）吸煙療法（五）各種內服法（六）藥浴療法

以上六種であるが一得あれば一失あつて六〇六號の如き速効あるものは恐る可き危險を伴ひ亦藥毒少き者は効能薄く未だ完備の驅梅法の現出を見ず然るに梅毒は人の厭惡する病なれば患者は總て隱蔽し不慮の不幸に陷入る [illegible]

『サルウワルサン』（六〇六號） [illegible]

根治丸 一週分 金六十錢

擔任藥劑師 中島義次
助手藥劑師 渡邊力

京城南大門通四丁目 救世藥舘 電話二五九三番 振替口座二二六八番

『賣藥』『製丸』『製藥』製造の依頼に應ず

梅毒 患者の曙光

世の中に、梅毒ほど恐ろしき病はなく、又梅毒ほど全治の見込ある病はなし、舊時は勿論今日も梅毒に苦しむ人多きは、舊時代の療法に因循しつゝあるが故也、進步せる醫藥界の新權威を知らんと欲せば一日も早く當研究所の誇りとする

新式 自宅療法

を用ひよ、身體に障なき專門內服藥の特効に依り、患者の體中に一大消毒が行はれて、血も肉も清潔になり、梅毒は、新陳代謝の生理作用に伴ひ、自然に體外に排泄さる、梅毒菌の全滅即ち梅毒の全治なり、從來あらゆる療法に失望せる、苦惱みの患者さへも本療法に依り、始めて安全に根切りの日を指折り數へて期し得べし。

□平凡なる賣藥類と同視する勿れ

無代說明 ハガキにて申込あれば詳細なる說明書無代郵送す

東京本所向島小梅町二四（電本所七〇〇番）
東京藥化學研究所

家傳靈藥 ぢの藥

◎痔疾一切◎大重症之◎脫肛◎痔漏の徵候等現狀の上記治癒する家傳の妙藥有「ハガキ」で申込あれば病原理由を自宅治療法の書冊進呈す

東京京橋區 [illegible] 小松盛林堂

御大典記念特價大提供

豫約出版以來多大の稱讚を擅にせる本書の聲價は今や全國の津々浦々に共鳴して英學界を風靡するの盛況を呈せるは弊社の恐懼措かざる所也仍て爰に今度曠古の盛典たる御大典記念として再度の特價販賣を決行し遍く江湖日頃の愛顧に酬はんとす而も特價期限は極めて短かし乞ふ此千載一遇の好機を逸せず即刻御申込あらんことを……

着金次第即時送本

▲四六判 全一冊紙數一千六百餘頁 總クロース函入頗美製本
定價金二圓五十錢

▲記念特價金二圓 送料（內地十二錢 支鮮四十錢）
提供期限十一月廿日限
（以後は斷然復定價）

正則英語學校々主 齋藤秀三郞先生新著

熟語本位 英和中辭典

內容見本 申込次第進呈

本書の出顯に對し公明なる世評の一斑!!

國民新聞 英和辭典中未曾有の異色として英語學生に推獎して甚だ可なるものである

東京朝日 英和辭典中最も特色ある好著として推薦せらるべきものなり

讀賣新聞 組織英語學者たる著者が得意の解說法によりて難解の熟語をも平明ならしめ從來何人も認めざるべからざる所にして其他幾多の長所を具へ實に英學者知無二の寶典として本書一度出づるに及んでは群小杜撰なる辭典は月前の星たるの觀あらんか

大阪毎日 辭書作文の際の參照用として頗る便利なるのみならず常に信頼すべき參考書たり本辭書出でたる爲に從來英學生が感じつゝありし不便の大半は除去せられたりといふも不可なし

大阪朝日 唯の辭典と云はんよりは文法的字引或はエンサイクロペデアとして其の特色を發揮せる箇所多し例せばShall, will, may, can, must等助動詞の說明の如き細に入り微を穿ち文典の摘寫の如き觀あり其他日本學生に厄介なる前置詞も on に九頁 of に六頁 for に六頁を費やせる如きを以て內容豐富の一般を窺ふべし英學者の座右に缺くべからざる著なり

發行所 東京神田區錦町一丁目二番地 日英社 電話本局二二五三 振替東京二三六二二 發賣 京城 大阪屋號 京城 日韓書房

御大典奉祝

畏こき今日の大嘗祭を祝ほぎ
爽快保健の仁丹を召して
絶對の健康を得られよ!!

消化と毒けし 仁丹

活用時
●祝賀宴會の時…仁丹召上れ
●人込雜沓の時…仁丹召上れ
●觀劇散步の時…仁丹召上れ
●悪醉宿醉の時…仁丹召上れ

萬歲

金料玉條 金言
仁者は人の善を見て、人の惡を見ず……（伊藤仁齋）

大阪株式特電 [illegible]

大阪期米特電（十三日） [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

▲檢米と成績 [illegible]